

第3回 あびこ e モニターアンケート 「子どもと関わる市民活動について」集計結果

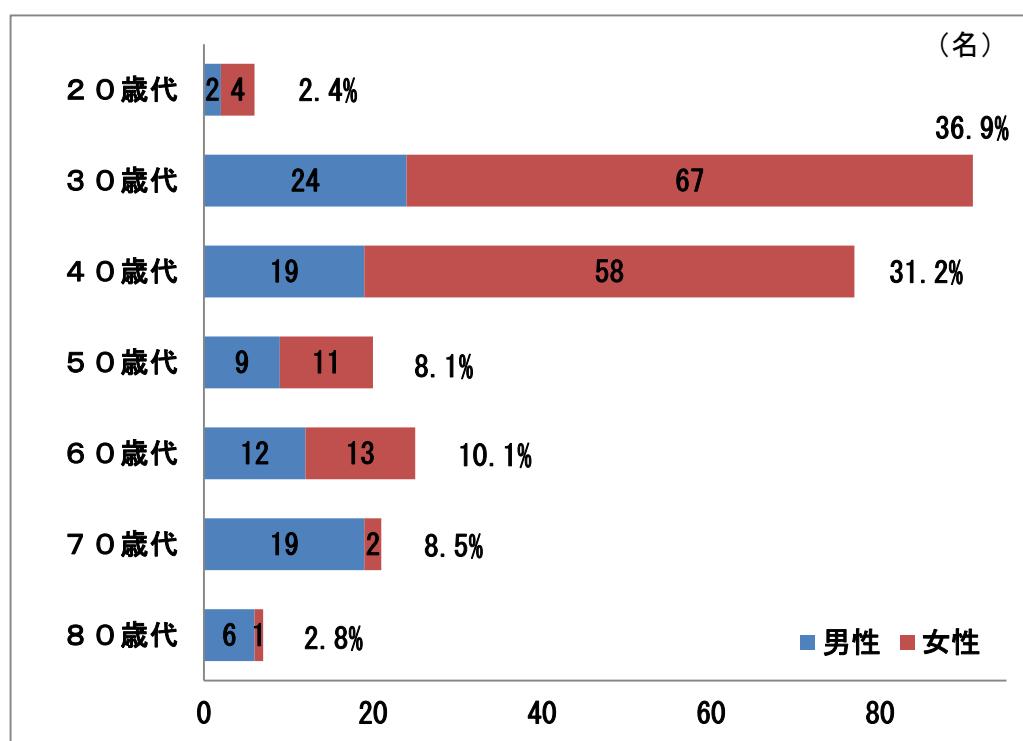
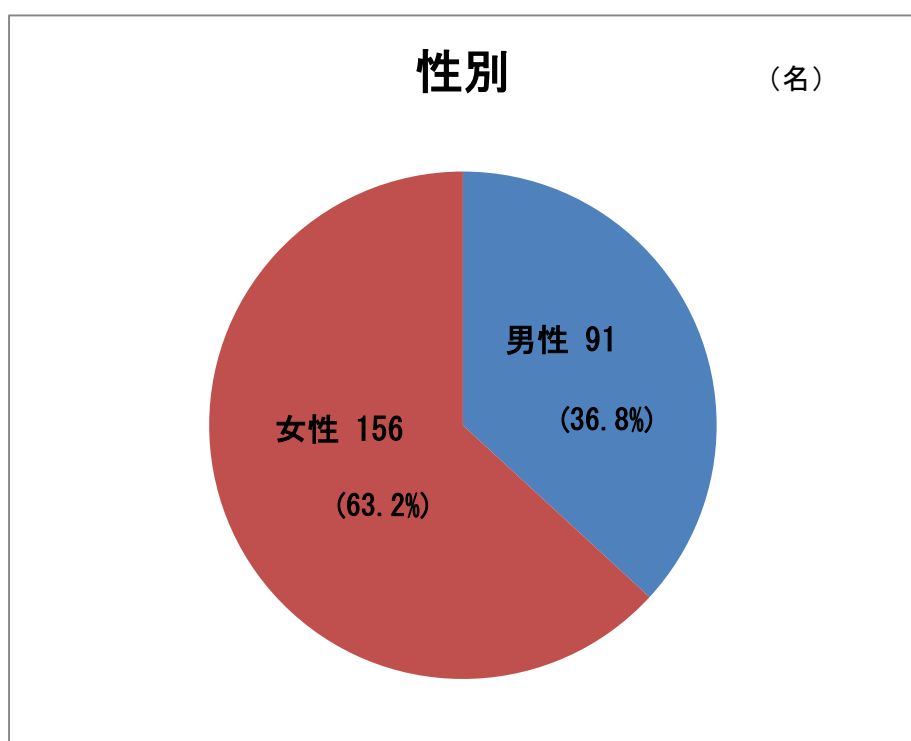
アンケート送信日	平成30年9月3日（月）
実施期間	平成30年9月3日（月）から平成30年9月16日（日）まで
登録者数	247名
回答者数	174名
回答率	70.4%

＜実施の目的＞

市民活動や地域の子どもたちと関わる市民活動について、ボランティア・市民活動に対する参加現況を把握するほか、今後どのような取り組みが必要であるか、また若い担い手に興味を持っていただけるような工夫について、今後の参考とするためアンケートを実施します。

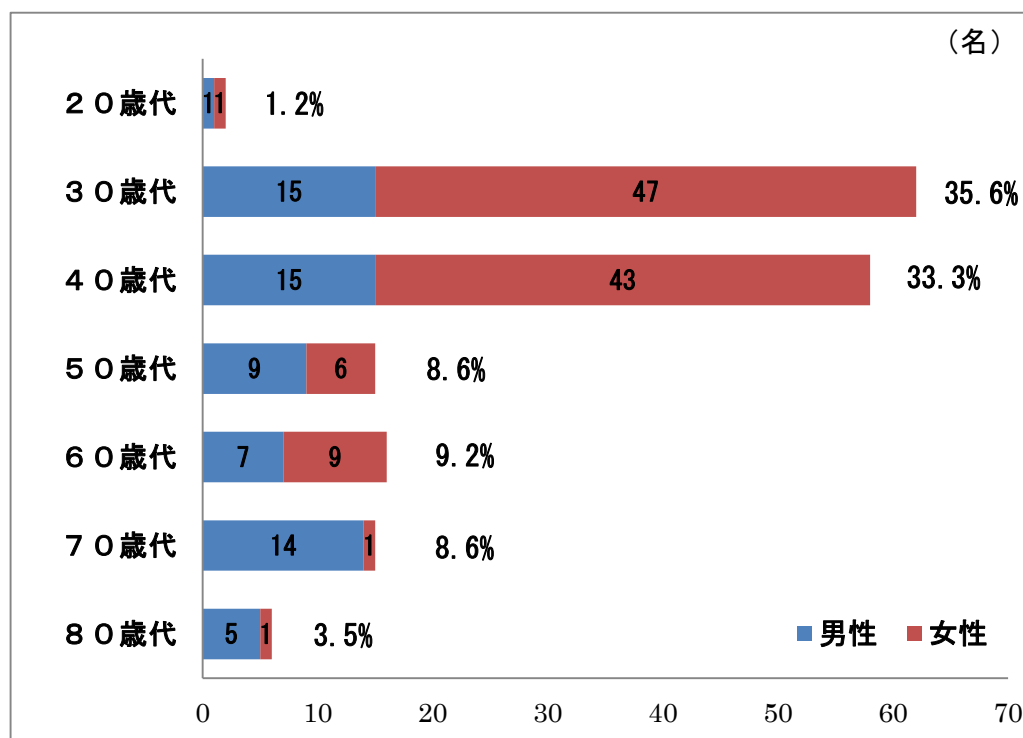
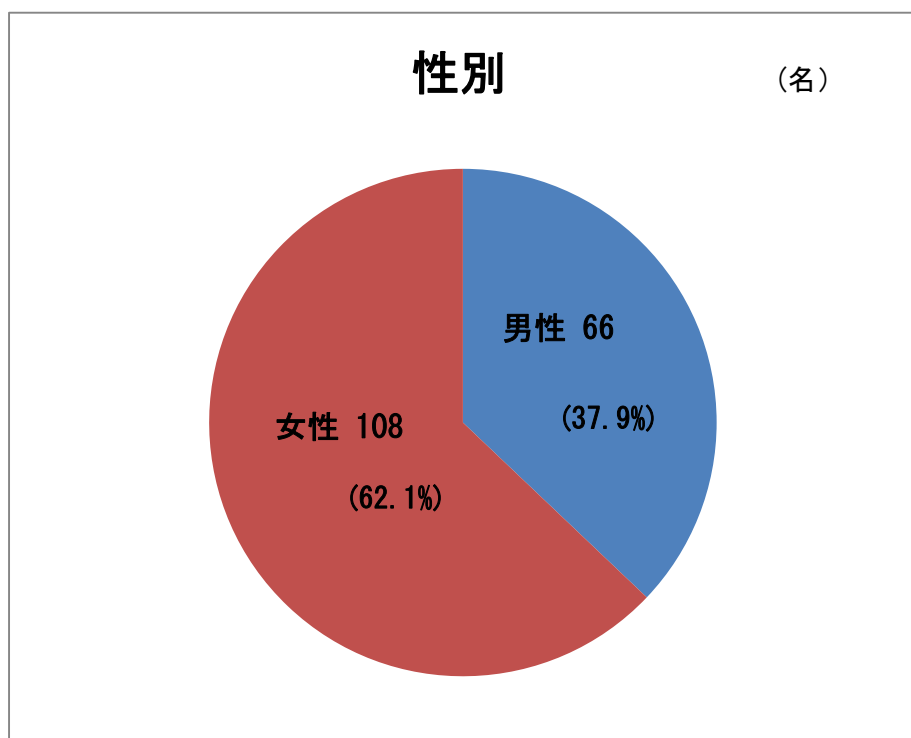
＜あびこ e モニターアンケート登録者の内訳＞

平成30年9月3日現在



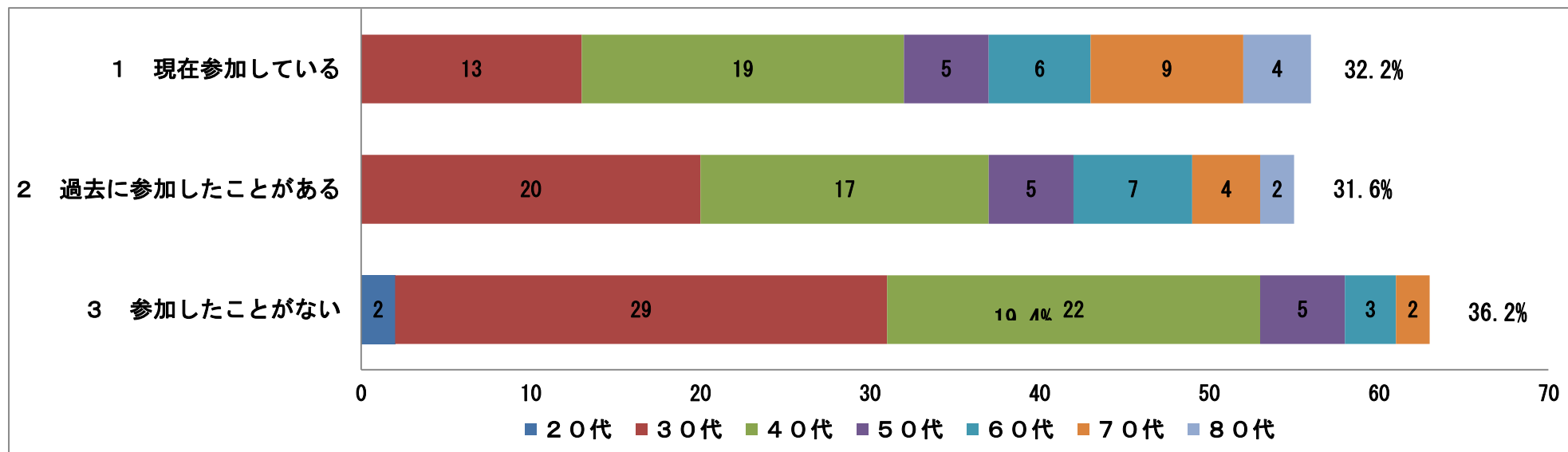
＜アンケート回答者の内訳＞

平成30年9月16日現在



問1 あなたはボランティア（PTAを含む。）や市民活動に参加していますか。又は参加したことがありますか。

(名)



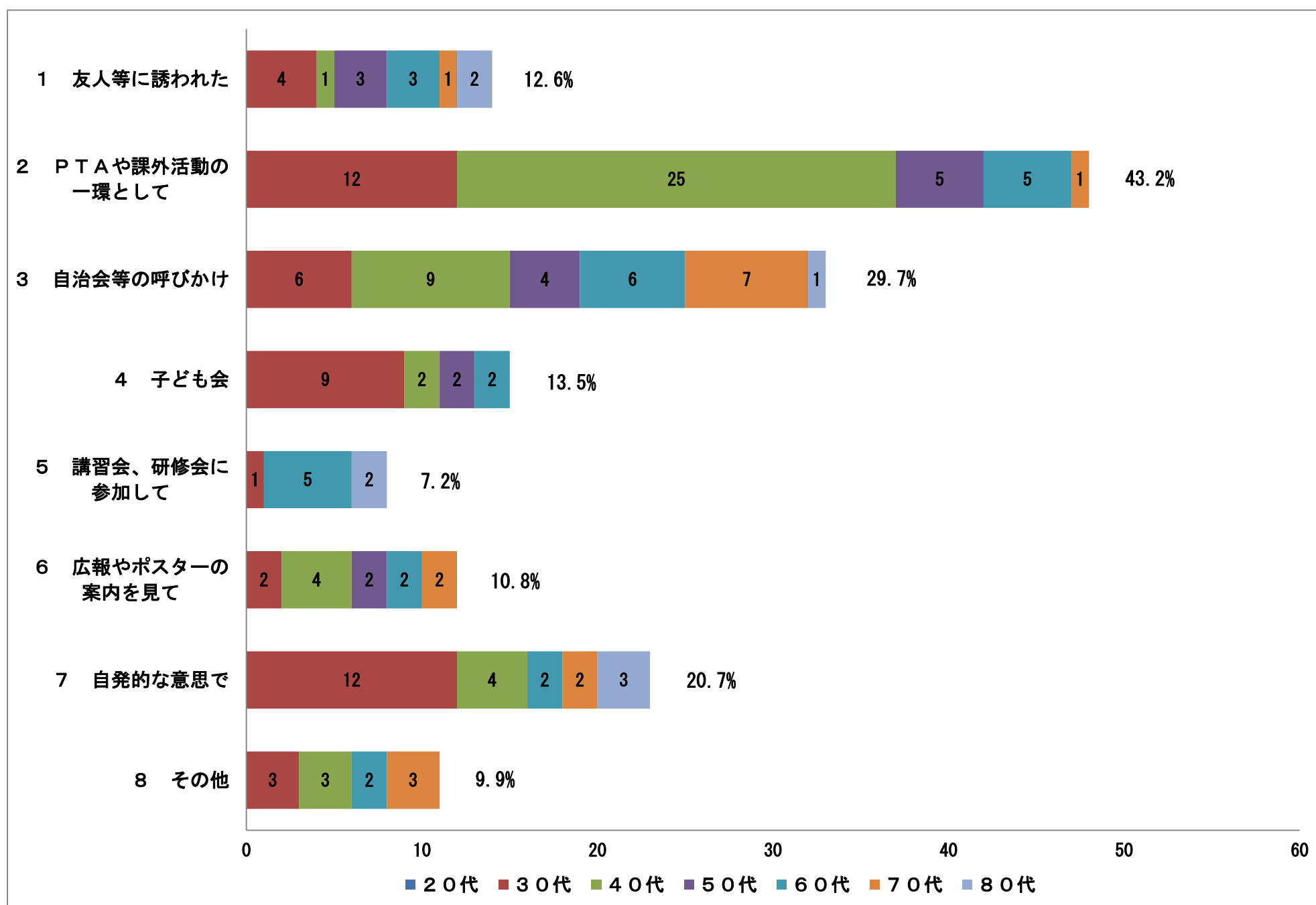
<コメント>

市民活動に「参加している」「過去に参加したことがある」と回答した方が63.8%と全体の半数以上を占めており、特に30代、40代の比率が高いようです。半数以上の方が、何らかの形でボランティアや市民活動に参加したことがあることがわかります。

一方、「参加したことがない」と回答した比率も30代、40代が高かったことから若い世代のボランティア、市民活動の参加率が二分してしまっているようです。

問2 問1で「1」又は「2」と答えた方にお伺いします。参加したきっかけは何ですか。【複数選択可】

(名)



<その他>

1	我孫子市体育協会 ※同様回答複数あり
2	サークルの活動の一環として参加している。
3	サークルの活動の一環として参加している。
4	子どもに障害があり、働くには無理があるためボランティア活動で外との関わりをもっている。
5	仕事
6	SNSとウェブサイト
7	スポーツ少年団
8	会社の社会貢献活動として
9	小学校と中学校のときにボランティアに参加したが、校外活動の一部であり半ば強制だった。就職してからも自治体のスポーツ委員をやったが、会社から最低協力する人数が決められ、半ば強制だった。
10	妻に言われて

<コメント>

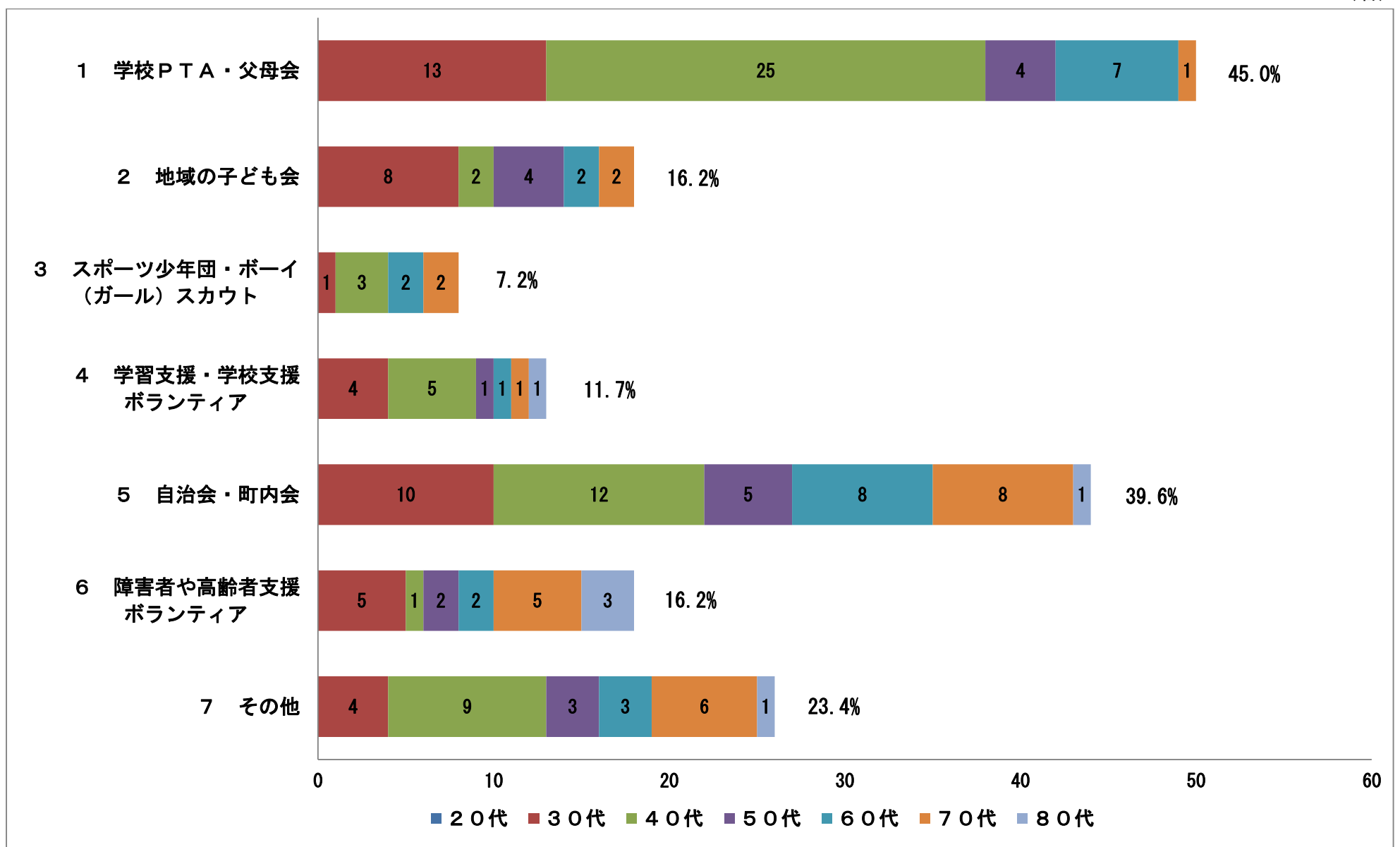
ボランティア等に参加したきっかけは、「PTAや課外活動」（43.2%）が一番多く、次いで「自治会等の呼びかけ」（29.7%）が多くなりました。一方、「自発的な意思で」（20.7%）「広報やポスターの案内を見て」（10.8%）、「講習会、研修会に参加して」（7.2%）と自らの意思で参加を決めた方も少なからずいることがわかりました。

このことから、ボランティア等に参加するうえで、自発的な意思で参加される方はいるものの、まわりからの声かけが大きなきっかけとなっているようです。

問3 問1で「1」又は「2」と答えた方にお伺いします。参加した活動内容は何ですか。

【複数選択可】

(名)



<その他>

1	災害ボランティア ※同様回答複数あり
2	図書館市民スタッフなど ※同様回答複数あり
3	援農ボランティア ※同様回答複数あり
4	子育て支援施設でのボランティア
5	子育て支援
6	子育てサポーター

7	防犯パトロール
8	自主上映映画。公園清掃
9	時事懇談会「時の話題」。我孫子市地球温暖化防止推進協議会。小4授業「ツルレイシを育てる」支援。ディサービスで隔月支援。小学校へ地球温暖化の出前講座
10	文化財保護活動
11	みどりのボランティア
12	あびっ子のサポーター、子ども見守り隊、まちづくり協議会、スポーツ推進委員、ふれあい塾、地域のきらめき、よりみちサロン
13	高齢者向けパソコン教室、会社周辺の清掃
14	新春のマラソンの走行路警備と手賀沼エコマラソンの駐車場の管理支援業務
15	我孫子市主催の体育関係イベント
16	地域清掃活動
17	募金活動
18	冤罪被害者支援
19	我孫子市ではないが、プログラミング教育のボランティアメンターとして活動中です。
20	子供の活動の支援
21	海外からの学生のホームステイとして
22	病院のデイサービスでの、ボランティア
23	青少年相談員

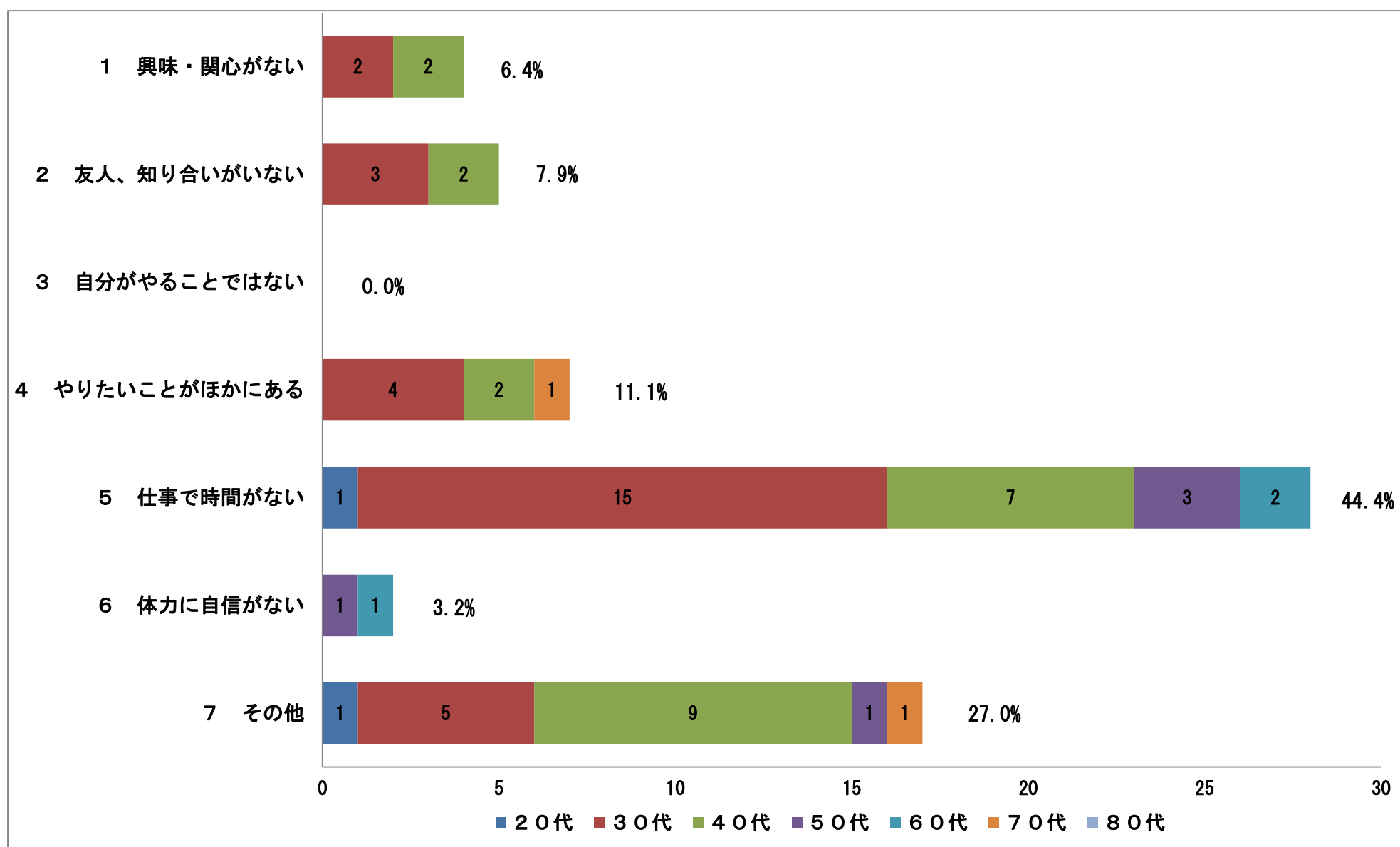
<コメント>

参加した活動内容は、「学校PTA・父母会」（45.0%）が一番多く、次いで、「自治会・町内会」（39.6%）への参加が多いことがわかります。また、「障害者や高齢者支援ボランティア」（16.2%）、「学習支援・学校支援ボランティア」（11.7%）のような、いわゆる目的型組織への参加が見られます。「その他」については、子どもと関わる活動が多いことがわかります。

これらの結果から、PTA等のような「属性型組織」や自治会等のような「地縁型組織」への参加が多く、特定の課題解決等を目的とする「目的型組織」への参加は比較的少ないことがわかります。

問4 問1で「3」と答えた方にお伺いします。その主な理由は何ですか。

(名)



<その他>

1	乳幼児がいるため。子育て中のため。 ※同様回答複数あり
2	機会がない。情報が無い。 ※同様回答複数あり
3	機会がなかった。 ※同様回答複数あり
4	何をやれるかわからない。どう参加するかわからない。
5	子育て前は仕事で時間が無く、今は子育てとパートで中々自由な時間がなかったため。
6	平日は仕事があったり土日は子どもがいたりするから。
7	時間がない。
8	参加したいが、探しきれしていない。
9	できそうなものが今のところない。
10	成田空港ボランティアをしているが、興味あるボランティアがあれば参加したい。
11	興味があり、やってみたいがどこでどんなボランティア活動があるのか知らない。

<コメント>

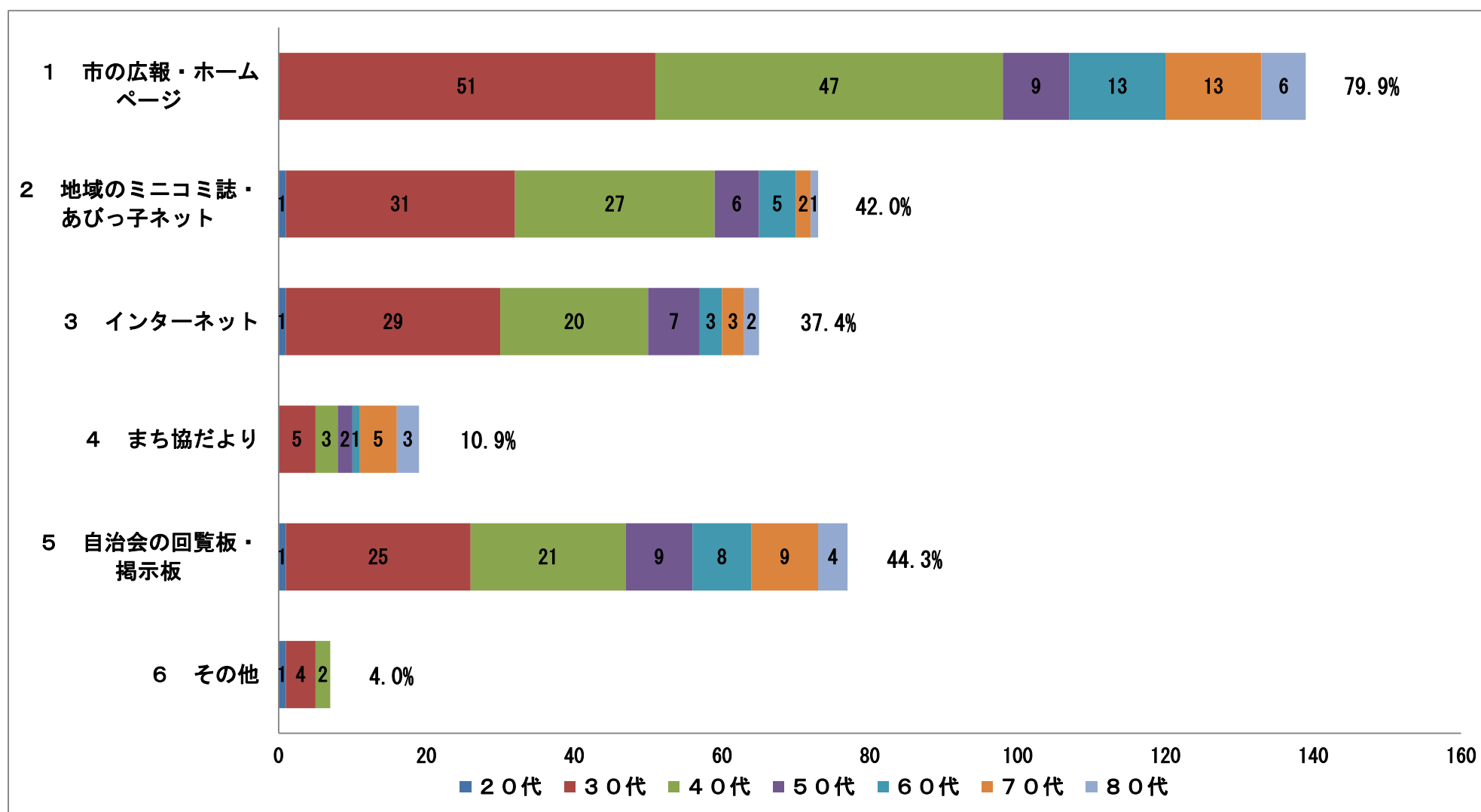
参加したことがないと回答した理由として、「仕事で時間がない」が44.4%と一番多く、また「子育て中のため」「機会がない」などの回答も複数ありました。

「興味・関心がない」と回答した方は、6.4%と少ないことから参加できる機会があれば参加いただける方が多いことがわかります。また、「情報が無い」との回答もあったことから、活動の情報を広く提供していく必要があります。

問5 地域のイベントや情報を得るため、どのような手段で情報収集していますか。

【複数選択可】

(名)



<その他>

1	幼稚園からのお知らせ
2	保育園からのお便り
3	すくすく広場
4	新聞
5	友人の口コミ
6	妻に聞く
7	得てない(得たとしても参加できないから興味がない。)

<コメント>

「市の広報・ホームページ」が79.9%と、非常に高い回答であり、多くの方が広報・ホームページをご覧になっていることがわかります。

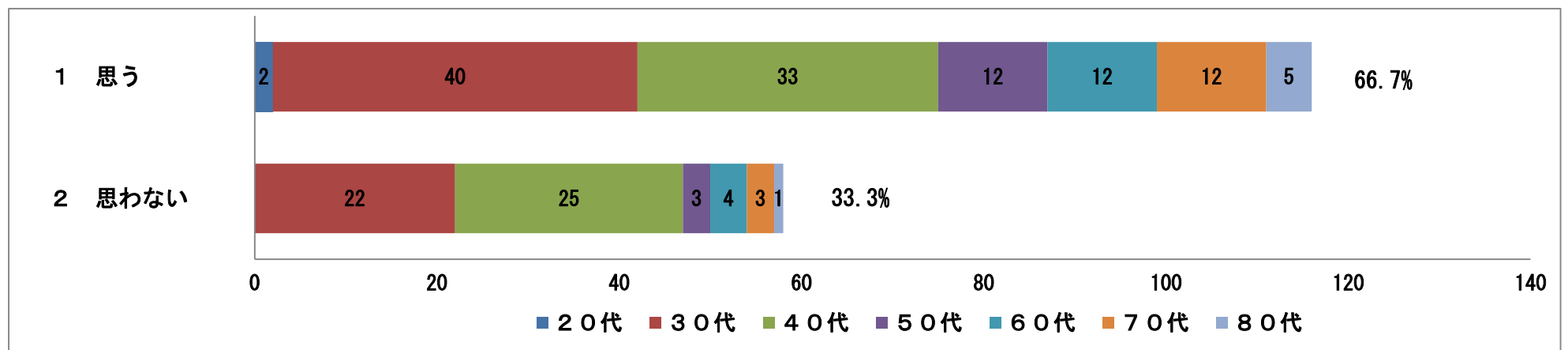
また、自治会の回覧板、掲示板や地域のミニコミ誌・あびっ子ネットを活用されていることも多いことがわかりました。

今後の情報提供手段に役立てていきたいと思えます。

子どもと関わるボランティア・市民活動についてお伺いします。

問6 今持っている経験や知識、能力を地域の子どものために活かしたいと思いますか。

(名)



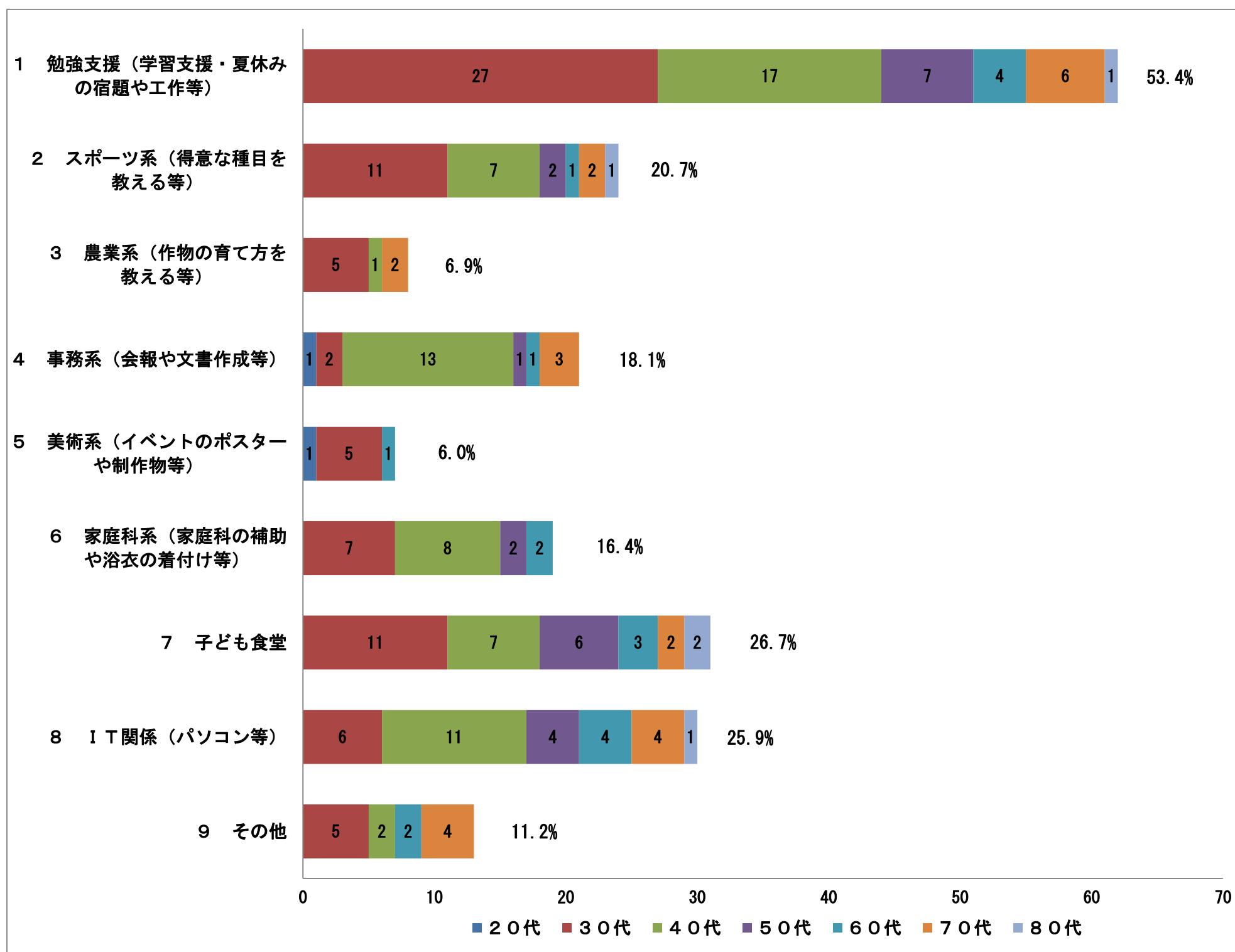
<コメント>

66.7%という半数以上の方が地域の子どもたちのために活かしたいと回答いただきました。

ご協力いただける場を多く設け、ぜひ地域の子どもたちに還元できる機会を作っていきたいと感じました。

問7 問6で「1」と答えた方にお伺いします。活動するとしたらどのような分野で活動してみたいですか。【複数選択可】

(名)



<その他>

1	お祭り
2	福祉関係の仕事をしているので、仕事内容を伝えたり、障がい者や、高齢者と関わる手伝いが出来たらいいと思う。
3	種々やりたいが時間的やりくりが難しい。現状手一杯。仕事もしている。
4	地域のイベントなどの手伝い。
5	日曜大工
6	動物(ペット)との触れ合い方を通じて命の大切さや動物との共生を学ぶ。
7	地域の美化運動などに一緒に取り組む。
8	音楽系でピアノや笛を教えたり一緒に歌ったりダンスをしたりして交流したい。
9	語学勉強
10	書道、語学
11	保育
12	昆虫採集や昆虫との遊び、育て方等々
13	子育てサポート

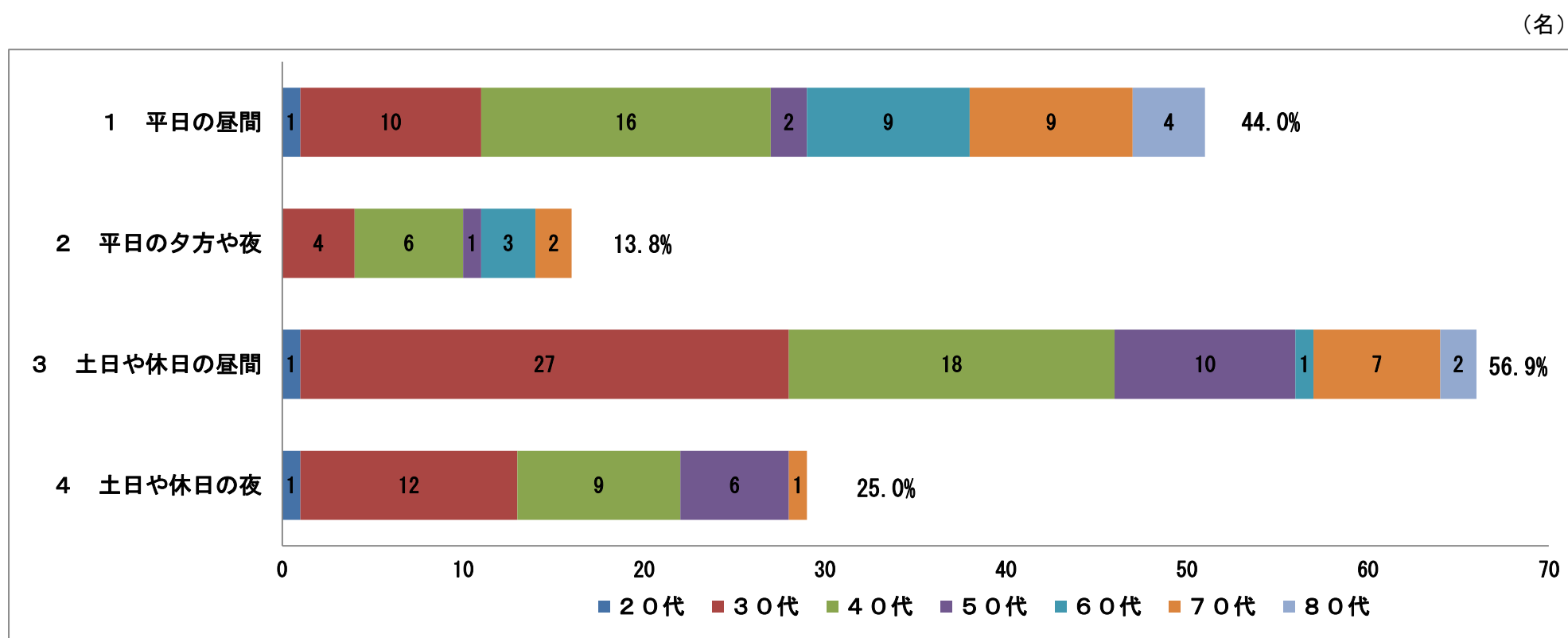
<コメント>

勉強支援（53.4%）が全体の半数を占める結果となりました。続いて子ども食堂、IT関係、スポーツ系となっています。

農業系、美術系は少ない回答ですが、幅広い活動支援が可能であることがわかります。

問8 問6で「1」と答えた方にお伺いします。活動できる曜日、時間帯はいつですか。

【複数選択可】



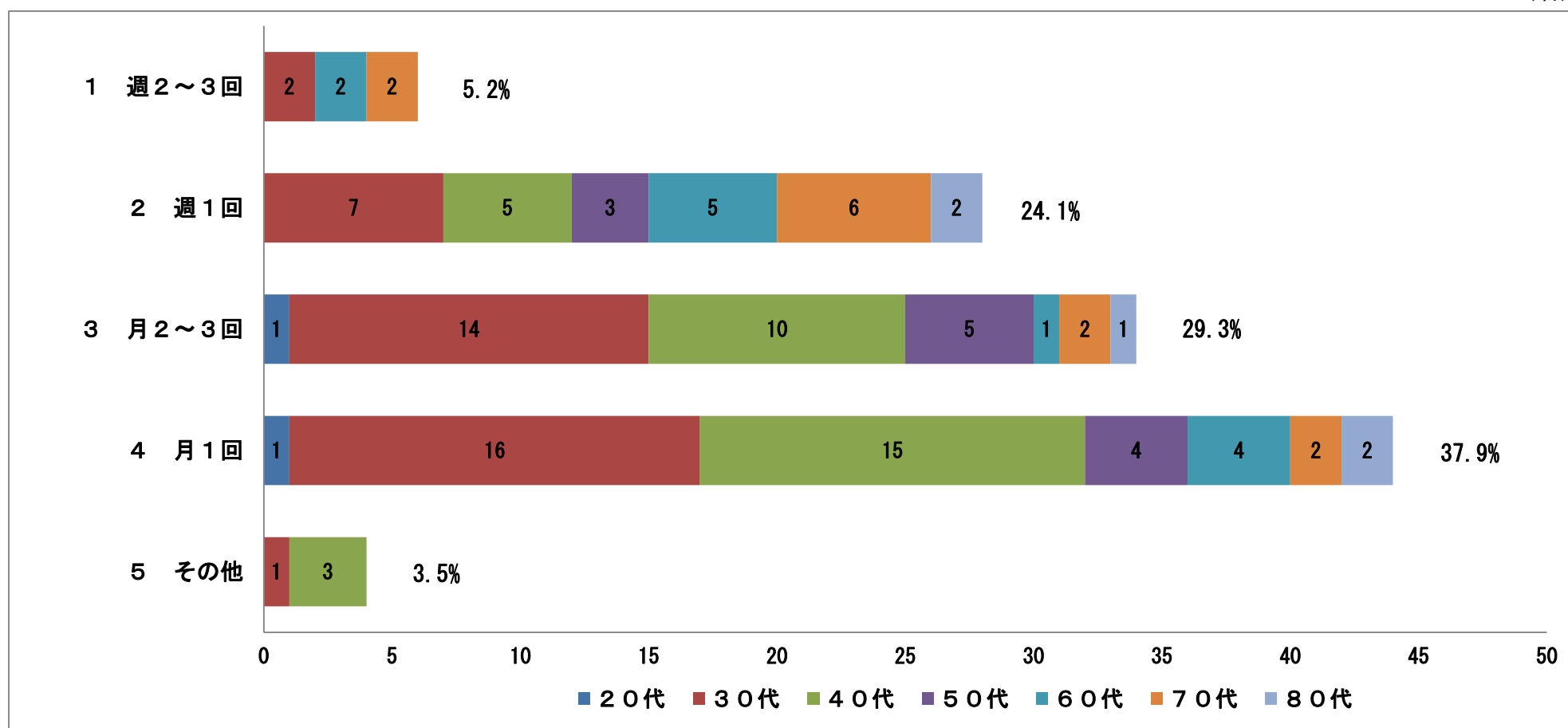
<コメント>

「土日や休日の昼間」「平日の昼間」の回答が多く、さらには「夜間」よりも「昼間」の時間帯が活動しやすいということがわかります。

このアンケート結果に基づき、活動日時や時間帯を今後の参考にしていきたいと思っています。

問9 問6で「1」と答えた方にお伺いします。どのくらいの頻度が適当だと思いますか。

(名)



<その他>

1	2~3ヶ月に一度 ※同様回答複数あり
2	平日は仕事あるので、
3	夏休み期間中などに限定して週1回以上

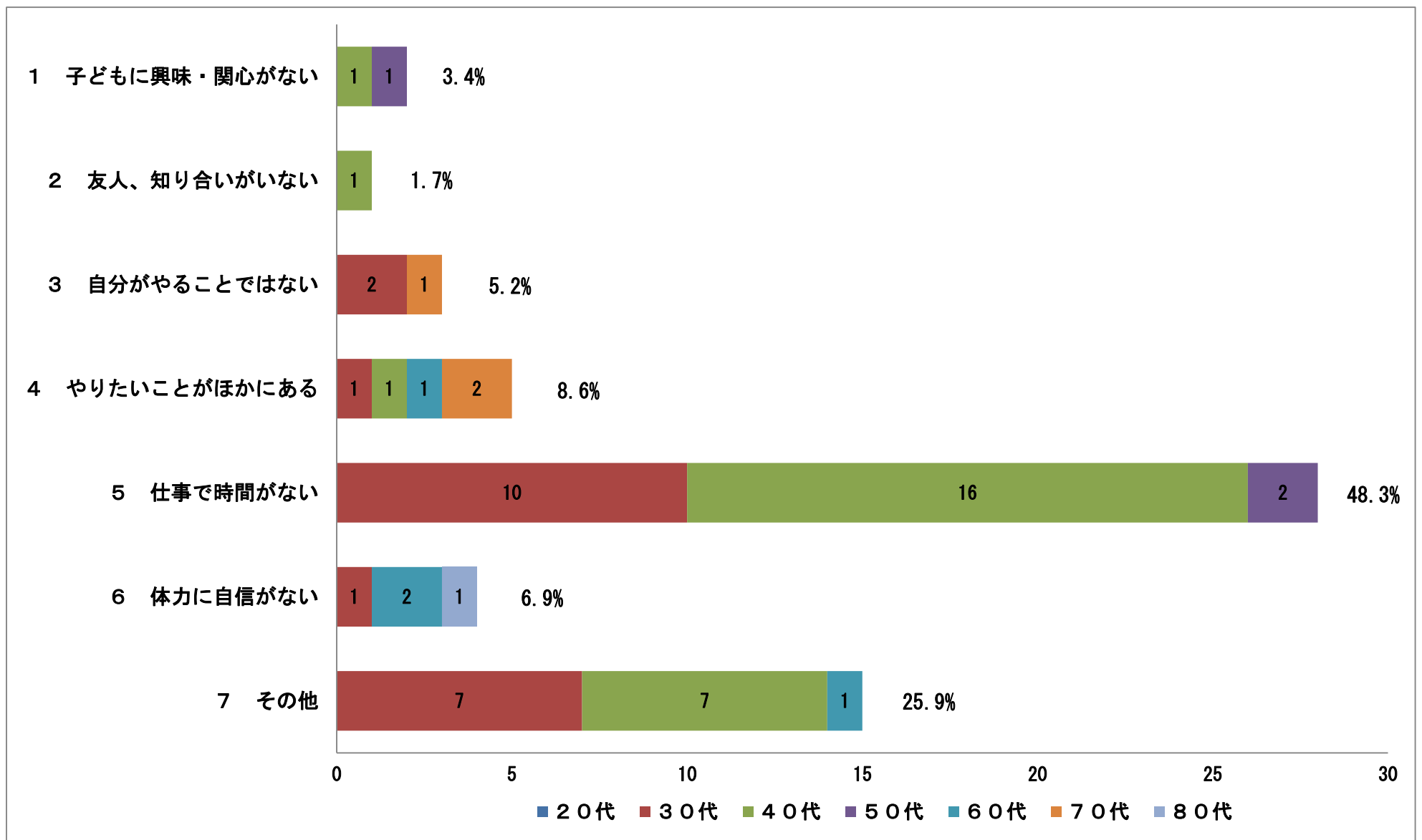
<コメント>

「月1回」が37.9%と一番多い回答となっていますが、「週1回」や「月2~3回」の回答も比較的多い結果となっています。

回答の多かった「月1回」から「週1回」まで活動できるような内容を用意しておくことで多くの方に参加いただけることがわかります。

問10 問6で「2」と答えた方にお伺いします。その主な理由は何ですか。

(名)



<その他>

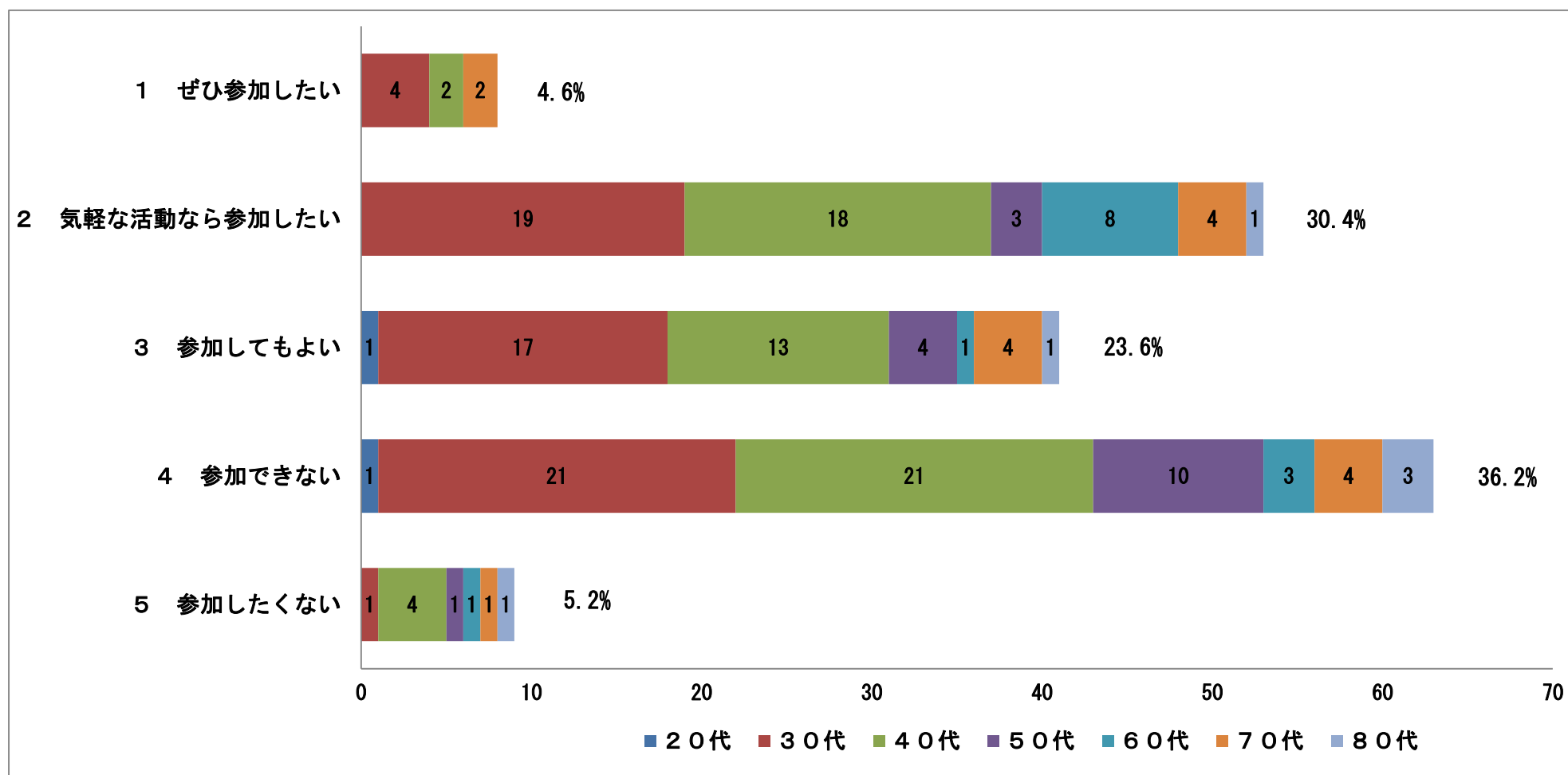
1	教えられる事がない。能力、技量、知識や経験がない。 ※同様回答複数あり
2	何ができるか分からない。今、特に出来る事がない。 ※同様回答複数あり
3	子育てが落ち着き、余裕ができてからやりたい。 ※同様回答複数あり
4	特に教えられるほどの知識、技能はない。子どもへの影響を考慮すると、無責任にやるべきではないと考える。
5	何か教えられる自信がない。
6	問6で「1」にしたいが、問8が答えられないので仕方なく「2」を選択しました。
7	妊娠中のため。
8	自分の子どもがまだ小さいので育児で時間がない。

<コメント>

「仕事で時間がない」が半数近くを占めました。しかし、「子どもに興味・関心がない」「友人、知り合いがいない」と回答した方は5.1%のみであったこと、「余裕ができたならやりたい」、「子どもが小さいので」など、時間的な余裕ができたなら、参加が可能である回答もあることから、仕事をしながらでも参加可能な活動であれば多くの方の参加が見込めることがわかります。

問 1 1 自治会や学校から登下校の見守り活動や挨拶運動の参加依頼があったら参加しますか。

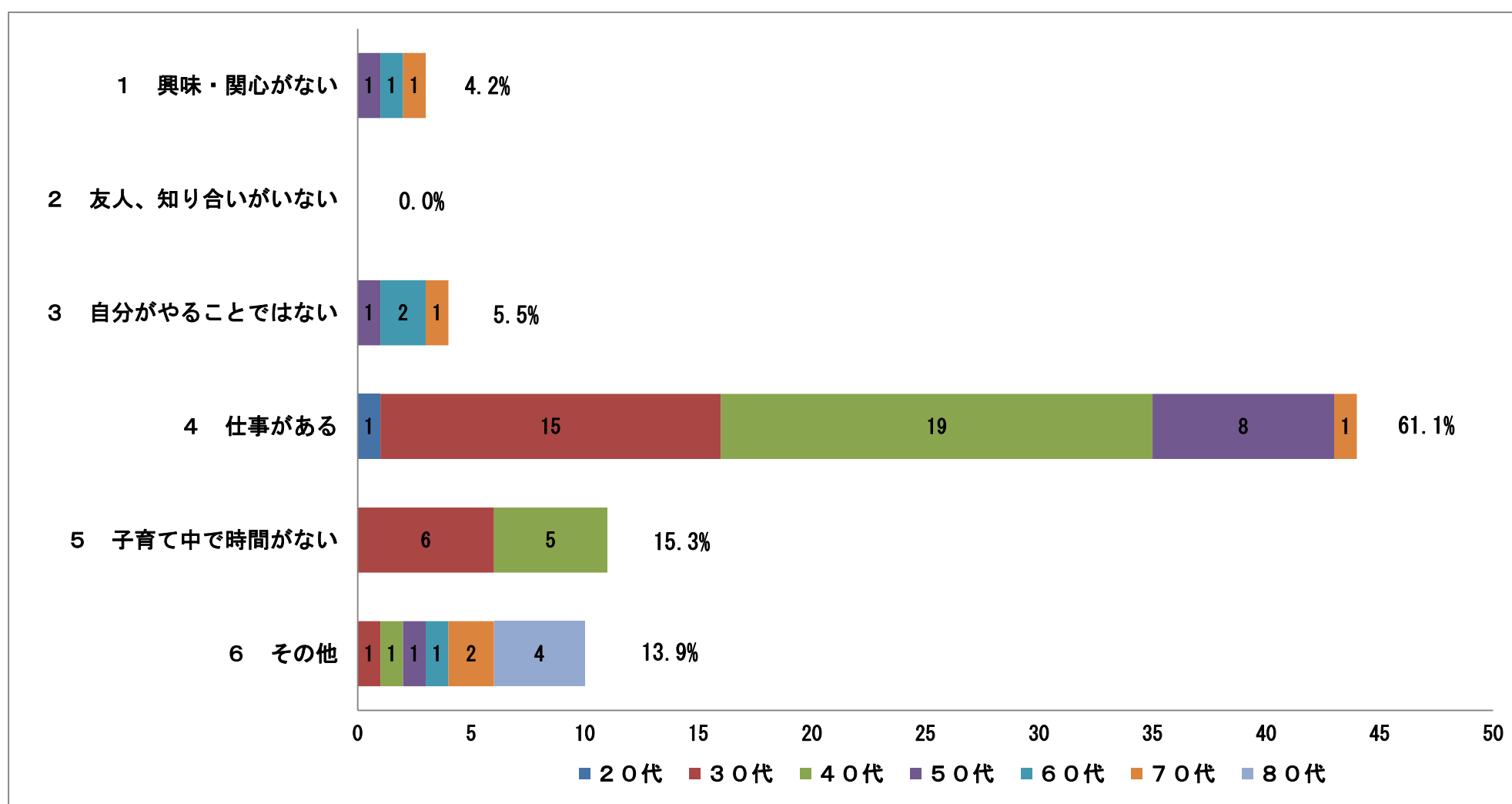
(名)



<コメント>

「参加したい」「参加してもよい」は58.6%という回答となりました。
 半面「参加できない」「参加したくない」も全体の4割を占めている回答でした。
 犬の散歩、庭の水まき、お買い物など、ちょっとしたことが子どもの見守り活動等に繋がっていきます。機会がありましたら是非ご協力ください。

問12 問11で「4」又は「5」と答えた方にお伺いします。その主な理由は何ですか。
(名)



<その他>

1	体力に自信がない。体力がないので残念ながら無理です等 ※同様回答複数あり
2	体調で長時間立ってられない。
3	仕事の日は無理。自治会のパトロールでは参加している。
4	もうすぐ二人目も産まれるためしばらくは子育てに専念したい。
5	通学路付近の居住者、通勤者等が声掛け、見守りをできれば、特別に人を配置する必要はない。
6	決められた時間にいつもいつも添えないから。
7	趣味の会で忙しい。
8	軽い視覚障害があるため

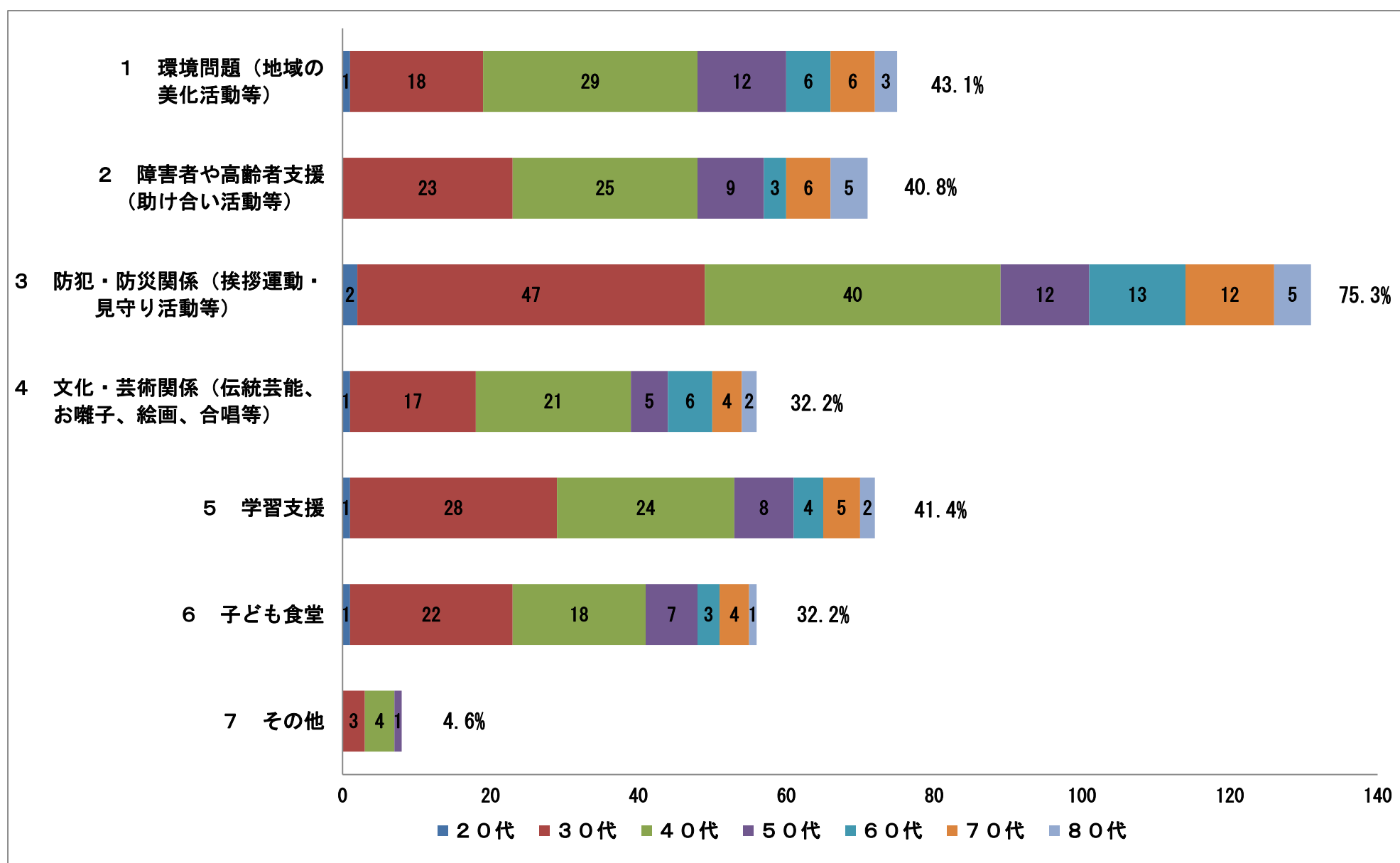
<コメント>

「仕事がある」ことにより「参加できない」という回答が6割を占めました。
 「興味・関心がない」「自分がやることではない」は、9.7%回答ありました。
 「友人・知り合いがいない」は0%であったことから、子どもの見守り活動を行うにあたり知り合いの有無は特に関係ないようです。
 また、休日等、仕事のない日に行える見守り活動には参加できる見込みがあることがわかります

問 1 3 地域の子どもたちのためには今後、どのような活動が必要だと思いますか。

【複数選択可】

(名)



<その他>

1	最も子どもが自由に遊べる事。最近では静かにしてほしい市民が多くて子どもは息苦しく育っていると感じます。自分は最も自由に育ちました。大声出しても誰も怒らなかった時代でした。子どもがいっぱい集まって叫んでいるといつクレームが来るかハラハラとしながら子育てをしています。
2	自治体を含めた組織づくりと並行して制度作り。
3	未来に必要なと思われる技術や知識で、学校ではまだ教えていないものを伝える活動があると良いかと。
4	挨拶ですら訴えられかねない世の中なので、年齢の離れた人とのふれあいや、人間関係の構築などの機会を与えてあげたい。
5	仕事や自分の趣味を優先して、子育てを他人任せにする親が増えていると感じます。親が時間を使って子育てを行う様、親の意識を向上させることが必要です。社会主義（かつての中国の人民公社）の様な画一的な子育てには反対です。
6	今回のテーマ「子どもと関わる市民活動について」に疑問を感じます。「子ども」とは限らない質問も多くあります。普通に「市民活動について」で良かったのではありませんか？
7	子どもが亡くなる事件をニュースで見て、命を軽く考えているように思うので、子ども一人育てることの大変さや、大変ななかでも赤ちゃんや小さい子どものいとおしさを感ぜられるよう、赤ちゃんを実際抱っこしたりお世話をする実習があると、今後の勉強にもなるかなと思います。
8	冒険遊び場

<コメント>

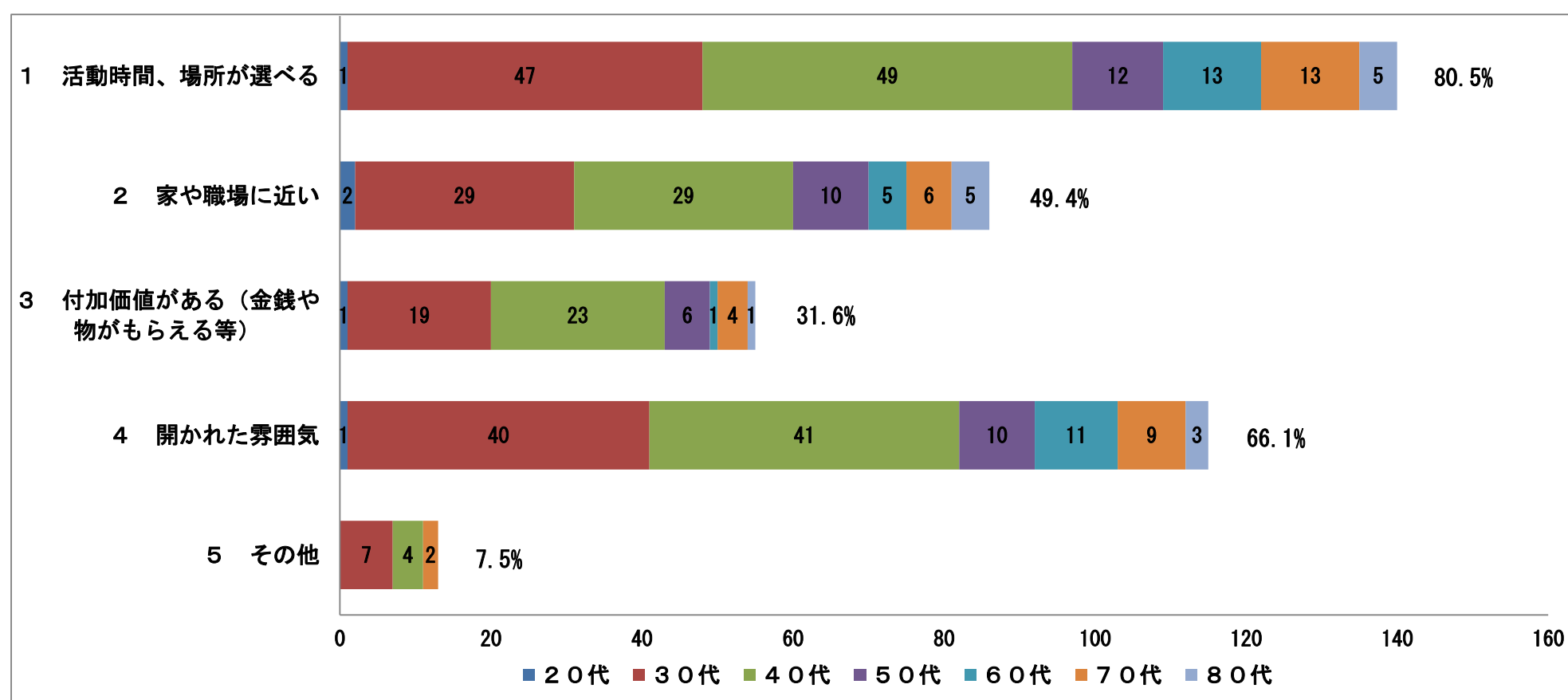
防犯・防災関係（挨拶運動・見守り活動）が7割以上を占めています。

現在も多くの方が見守り活動にご協力をいただいております。地域の子どもたちを地域で守る意識が高いことがわかります。

また、少数ですが、遊びや実体験、多世代交流活動などにも必要があるとの意見がありました。

問14 若い方に参加していただく市民活動にするためには、どのような工夫が必要だと思いますか。【複数選択可】

(名)



<その他>

1	参加するメリットが感じられること。友達が出来、知識を得られるなど。
2	ポイント制にしてポイント数による市民講座優先参加等の特典を与える。
3	SNSなど発信方法を広げる。内容を気軽に参加しやすいものにする。友達ができそう、など期待が高まるものがあると思う。
4	その必要性や方法・手段等の議論と啓蒙と思います。
5	そもそも募集が少なすぎるし、平日の募集が多すぎる。高齢化で老人が余っているのは理解できるが、若者の大半は働いているので、せめて土日開催するなど配慮して欲しい。
6	子連れで出来るボランティア
7	市が企業や大学と提携する。
8	「市民活動」という言葉は、左翼団体の政治活動を連想させます。活動ありきではなく、現状、何が問題なのか把握することが先ではないでしょうか？
9	週休3日制にする。

10	若い幅が分からないのですが、例えば独身の方だと、婚活も出来るような雰囲気があるとよいかなと思います。 また、子育て世代は、子どもがいて参加出来ないのも、子どもも参加できたり、保育があって預けられると参加しやすいです。
11	選択肢3の付加価値としてもう一つ大事な事は、市民活動に対する市民、国民の注目度が高くなるような施策だと考えます。
12	ボランティアは、1度やったらハマる人と2度とやらない人に分かれるでしょうね。若者は、無理
13	斬新さ、目新しさ、おしゃれさ

<コメント>

「活動時間、場所が選べる」が80.5%を占めました。次に「開かれた雰囲気」が66.1%となっており、だれもが気軽に参加しやすい環境を整えることが大切であることがわかります。

アンケート結果に基づき、若い方が市民活動を通じて交流できる場を提供できるよう工夫が必要であると考えられます。

自由記述欄

問15 子どもと関わる市民活動に関することも含め、市政に対してご意見やご感想がありましたらご記入ください。(自由記述)

(61件)

(1) 市民活動支援課(子どもと関わる市民活動)に関係するご意見やご感想

1	<p>ここで問われている事項に関して、こどもの側に、どのような希望があるのか、彼らが実際に何を望んでいるのか、彼らの両親がどう考えているのか、などに関する実態調査を行っていき、その内容を地域住民に対して広報していくことが大変大事だと思います。</p> <p>(60代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 子ども、そのご両親から希望や意見を確認する機会を設け、今後の市民活動に活かしていきたいと思ひます。</p>
2	<p>子どもたちの興味関心を引く内容の広報が出来るとより参加したいと思ってもらえるようになると思ひます。</p> <p>(30代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 子どもが興味関心を持ってもらえるような情報提供の仕方や方法など検討していきたいと思ひます。</p>
3	<p>保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学がお互いにもっと気軽に交流する機会(イベントなど)があればよいと感じる。もちろん既に一部では連携しているとは思ひが、あまりにも情報を聞かないし、せつかく子どもが多い町で大学まで近くにあるのだからもったいないと思ひう。</p> <p>(30代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 現在、我孫子市内では、行政が実施する手賀の丘フレンドシップツアー等のイベントや市民団体が実施するイベント等で大学生と小学生、高校生と中学生など、世代を超えて連携が行われている事業があります。 今後は、情報発信も含め、より多くの世代の方が市民活動等を通じて交流できる機会を提供できるよう事業を実施してまいります。</p>
4	<p>待機児童0の我孫子市は本当に素晴らしいです。地域の子供達の見守りや、子育て支援など、ボランティア活動にも、付加価値がつくと仕事として、主婦や学生沢山の人が責任と自覚をもって参加できると思ひます!!</p> <p>(30代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 ボランティア活動にも、有償ボランティアや65歳以上の方には「介護保険ボランティアポイント制度」というポイントによって年間最大5,000円がもらえる事業、大学で活動実績が単位につながるなど付加価値がついているものも増えてきました。また、ボランティア活動を通じて地域の方と知り合いになれる、ご自身の健康増進につながるなどの目に見えない付加価値もあります。</p>

	<p>ぜひ地域の活動にご参加ください。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しない＝精神的なものか物理的(時間的)なものかに分けて考える必要があります。 ・フルタイム残業あり(しかも職場が遠方)で勤務していますが、PTA含め子どもと関わる市民活動に参加する時間的余裕はありません。 ・精神的にやる気がない人に参加してもらうにはそれなりのインセンティブをつけるべき。 ・時間的に余裕が無い人に参加してもらうには、業務を細分化し、ワークシェアリングとして単発でできる仕事を振るべき。 と思います。 <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 ボランティア活動は、自分ができるときに、できる範囲で実施するのが良いと言われています。 ご指摘のとおり、ボランティアを行う方を増やすには、インセンティブや細分化も必要になってくると考えられます。いただいたご意見については、人が不足していることでお困りの団体にもお伝えしていきます。</p>
6	<p>ほとんどのものが平日日中で、非効率的な集まりが多いように感じています。仕事をしていても、参加しやすい、仕事をしている母に理解のある活動をしてほしいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 誰もが気軽に参加できるようになるためには活動日時も重要な事項と考えます。いただきました意見を反映できるよう工夫していきます。</p>
7	<p>育児が落ち着いたら市民活動に参加したいと思っています。 現状で子どもと関わる市民活動はどのようなものが望まれているか知りたいです。 また、子どもと関わる上で、学校や自治会との連携は必須になると思います。この地域、またこの学校ではこんな人を募集しています。など、その場の人直接声を上げられるシステムなどがあるといいなと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 現在、久寺家地区、我孫子北地区、天王台北地区、天王台子南地区、新木地区では地域会議を開催しています。その会議のメンバーには自治会や学校、さらには子ども会代表として参加されている方もいらっしゃいます。その中で地域の子どもの安心・安全を目的に「子どもの見守り活動」など子どもに関わる活動を実施している地区もあります。活動内容等については、市のホームページで紹介しておりますので、ぜひ、ご覧ください。 今後、時間ができましたら市民活動にご参加ください。お待ちしております。</p>
8	<p>アンケート結果を政策に生かし、アンケートの回答者と意見を交換する。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 子ども、そのご両親から希望や意見を確認する機会を設け、今後の市民活動に活かしていきたいと思っています。</p>
9	<p>どんどんやって下さい。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】</p>

	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 機会がありましたら、活動にもぜひご参加ください。</p>
10	<p>子どもの見守りを若いお母様方に代わって年寄りが代行してあげられるようなボランティアを市役所が積極的に進めてはどうでしょうか。 子育てしやすい町としての具体的なアクションとして理解して戴けるのではないかと。私は地域で赤ちゃんをだっこしながら通学児童を見守りしているお母さんの代行を上げています。我孫子のシティアやグランレジデンスなどもお母様方がやっていますので年寄りが代行してあげたらと思っけています。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。また、通学児童の見守りにご協力いただきありがとうございます。 市民活動は自分のできることをできる範囲内で行っていくことが大切です。ご意見いただきました代行事業について、現在開催している地域会議においても「子どもの見守り活動」の一つとして紹介させていただきたいと思ひます。</p>
11	<p>子どもと一緒に参加できる活動などがあると良いと思ひます。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。我孫子市が設置しているボランティア・市民活動の支援施設である「あびこ市民活動ステーション」では、子どもがボランティアに参加できる事業として「JOYボラ」を実施しています。 実施できる内容は、市が実施するイベントや市内で活躍する市民活動団体の活動に参加することができ、大人も同時に参加することができます。 また、参加した子どもには体験証明書も発行され、小中学校では学校から直接子どもに証明書が手渡されます。 夏休み期間等の長期休みだけでなく、日頃から体験できる事業もありますので是非ご参加ください。</p>
12	<p>広報を見ると様々な取組をされていて、素晴らしいと思ひています。自身も関わりたいのですが、仕事や親の介護などでなかなか参加できない状況です。地域の子供も達の時間に合わせることはできるとよいのですが、それができない、手助けができないジレンマがあります。自身の状況とマッチしたものがあれば是非お手伝いしたいと思ひています。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 「できる時」に「できること」を「できる範囲」で参加いただくことが市民活動の継続に繋がります。あびこ市民活動ステーションでは市民活動内容について情報を提供しており、相談もお受けしておりますのでお問い合わせください。</p>
13	<p>日頃の生活のなかでみまもり活動は行いたい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 普段の生活の中から、出来る範囲内で見守り活動を行っていただくことは、継続して市民活動を行っていくことに繋がります。 今後も無理のない見守り活動を行っていただきますようお願いいたします。</p>

14	<p>中、高校では、ボランティア活動が単位にプラスされると聞きます。市内のボランティアの種類や内容を、どんどんアピールしていくと良いのではと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 今後、広報で市内の高校及び大学のボランティア活動について紹介をしていく予定です。 また、9月に実施しました「市民のチカラまつり2018」では現在行っている市民活動内容の紹介やボランティア体験を行いました。今後も、継続して情報発信を行っていきます。</p>
15	<p>イベントを作るなど</p> <p style="text-align: right;">(50代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 9月に「市民のチカラまつり2018」を実施しました。現在行っている市民活動内容やボランティア体験などを通して、多くの方に市民活動団体及び活動内容を紹介しました。 今後も多くの方にご参加いただいているイベントを行っていきたいと思います。</p>
16	<p>市民活動に子どもさんの父兄も一緒に取り組む姿勢が必要。親同士が親しくなることにより地域の連帯感が生まれると思う。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 より良いコミュニティを形成する上で、地域の中で一緒に行動し何かを成し遂げていくということは大切なことだと考えています。 親同士が親しくなるには、子ども会など、子どもにかかわる地域の活動などを通して顔を合わせていくことで関係性が深められます。 イベントだけでなく、普段の生活の中であいさつなど声かけを行うことで少しずつ連帯感が生まれることが望ましいと考えます。ぜひ意識的な地域での声かけをお願いします。</p>
17	<p>あまり子どもを拘束しない、地域全体が緩やかなかわりを持つようなシステムを作り上げたい。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 市内の並木地区などでは、あいさつ運動を通じての子どもたちの見守りを実施しています。また、久寺家地区では地域の方が主体となって夏休みの宿題教室やラジオ体操の実施をしています。各地区で実施できるシステムを作ることは難しいですが、各地区にあった事業を大人も子どもも楽しみながら地域で実施することで地域全体がつながる一助になると考えます。</p>
18	<p>子どもたちの見守り活動はとても大切だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をありがとうございます。 引き続き、地域の子どもの見守り活動を行っていきます。 機会がありましたら是非ご参加ください。</p>
19	<p>子どもと関わりとあるので、教育に進みたい方に参加していただいて子どもって実際どんなものか感じていただいたり、どう話せば伝わるかなど勉強になるかなと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>

	<p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 市内大学と連携を取りながら、ボランティア活動の情報発信を行っていきます。</p>
20	<p>登下校の見守りは必要。仕事があっても地域の活動に参加できる世の中にならないかと願っているが、現実はかなり難しいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 子どもの見守りについては、多くの方にご協力いただいております。「できること」を「できる範囲内で」一緒に活動をしていただければと思います。</p>
21	<p>子育てフェスのイベントやお祭り、ひろばがエキチカにあるなど環境が整っていると思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 今後もひきつづき子どもから大人までが楽しめるイベントを行っていきたいと思います。</p>
22	<p>若い世代と高齢者世代の日頃からの付き合いがなさすぎる。いわゆるご近所付き合いが助け合いにつながると思います。</p> <p style="text-align: right;">(80代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 多世代間交流は地域コミュニティを考えるうえで重要なことだと認識しています。中でもご近所付き合いは、日頃の挨拶などの声かけが大切だと考えています。</p>
23	<p>空いている時間に、さらっと気軽に、この体が役立つ様なら、参加出来ます。知識は、古過ぎて、子ども達の将来に、役立つとは思えません。残念です。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 市内のボランティア・市民活動の中には様々な日時、内容の活動があります。少しの時間でも人手を必要としている活動もありますのでご自身が参加しやすい活動に参加いただければ幸いです。 また、子どもたちの将来に役に立たない知識はほとんどありません。特別なことだと思っていなくても子どもたちにとっては、新鮮で実りある知識であることも多くあります。 ぜひ、ご自身の知識を活用して、ボランティア、市民活動にご参加ください。</p>
24	<p>時間の縛りが緩やかで、あまり気負わずに気持ちよく気後れしないで参加できる活動</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 市内のボランティア・市民活動の中には様々な日時、内容の活動があります。少しの時間でも人手を必要としている活動もありますのでご自身が参加しやすい活動に参加いただければ幸いです。</p>

25	<p>気軽に出来る事なら、参加したいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 ご自身が参加しやすい活動からご参加ください。</p>
26	<p>子育てサポーターの受講をし、それ以来子育て支援のボランティア活動をしています。が今ボランティア活動をして頂くにはプラスがないと出来ない方がいるのは現実</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 ボランティア活動はできることを無理のない範囲で参加していただくことが大切だと考えます。</p>
27	<p>我孫子市は、親子参加型のイベント等が充実していると思います。 安全面では、通学路等人気のない場所があるので、見守り等、協力したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 今後も、「子どもの見守り活動」などご協力いただきますようお願いいたします。</p>
28	<p>現状、我孫子市は祭りやイベントが多いと感じるので、特に問題がなければ現状維持でよいと思います。 平和事業に関しては、戦後半世紀以上経ってから生まれた子ども達を広島へ連れて行って過去の反省をさせるのではなく、国際情勢を把握させようすれば戦争を防げるのかを考えさせる場こそが必要だと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 引き続き、多くの方が参加できるイベントを実施できるよう検討していきます。</p> <p>【企画課 回答】 広島や長崎への中学生派遣事業は、原爆の実相や被爆者の苦しみ等を現地で知り、学び、感じることによって、今後の平和事業や学習の糧にしてもらえることを願って実施しています。 そして、かつてこの派遣事業に参加し、高校生・大学生となった若者は、自らが企画した「リレー講座」を小学校で実施し、派遣体験を交えながら、平和の大切さを小学生に伝え、一緒に考える取り組みを続けています。 平和への取り組み方には様々な方法がありますが、市では今後も、被爆地への中学生派遣など、若い世代にとって戦争や平和について考えるきっかけとなるような事業を実施していきたいと考えています。</p>
29	<p>市として自治会の活動に多大なる支援を頂き誠にありがとうございます。我孫子市民の拡大を目指し住み良い安全な街の構築に市が援助しているPRを広報すべきと思う。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 今後も自治会活動に対して支援をしていきます。</p>

【市民安全課 回答】

市はこれまで、子どもの安全安心を最優先に公立保育園や小中学校、不特定多数の人や車が往来する駅周辺の主要道路等に街頭防犯カメラの設置を進めてきました。今後も、我孫子警察署と協議しながら、犯罪抑止と犯人検挙に有効な場所へ設置を進めていきます。

また、自治会や町会等の地域団体が設置する街頭防犯カメラに対し、設置費用の一部を補助しています。

引き続き、広報あびこやホームページ、防犯に関する会議等でPRし、市全体で安全で安心なまちづくりを推進していきます。

【道路課 回答】

我孫子市では交通安全の確保、犯罪の防止を目的に街路灯を設置し、維持管理する自治会に対し、自治会が管理している街路灯をLED化した場合、設置補助金が交付されます。また、維持管理費（電気料）として維持管理補助金を交付しています。

【建築住宅課 回答】

市では、若い世代の市外からの転入や市内での定住化を促進するため、平成26年度から若い世代の住宅取得に対して補助金の交付を行ってきました。この事業は我孫子市、柏市、野田市、流山市の不動産事業者をはじめ、市で実施している住宅政策とあわせて広く市内外に周知しております。また、住宅リフォーム工事に対し、補助金を交付する我孫子市住宅リフォーム制度やリフォーム補助制度を利用し、【フラット35】子育て支援型・地域活性化型の要件に適合する場合、住宅金融支援機構が提供する【フラット35】の当初5年間の借入金利を0.25%引き下げることができる【フラット35】子育て支援型・地域活性化型との連携など、市ホームページや広報あびこ、チラシの配布、ポスター掲示等で周知を図り、子育て世代の定住化をサポートしています。

- 30
1. 貧民救済の役割観点。子ども救済は強く必要。しかし子ども食堂に本当に困っている人は不在。それ故子どもへは直接物資支援が望ましい。実施は自己満足でない効果的な方法で監査すべき。
 2. 高齢者支援は、地域包括ケアやケアマネ独裁を客観的に判断する仕組みが必要。客観指標を用いてほしい。
 3. 我孫子市はエコマラソンはじめ多くの活動はボランティアの上で成り立っている。市民関与は常に協力し続けているかまったく関与しないかどちらかである。ただ関心ある人は多いため、関与を思わずしてしまう仕組みの工夫が我孫子市は足りない。NPOや福祉団体頼りで他力本願。他の自治体を見て勉強して具体的アクションとしてほしい。

(40代 男性)

【社会福祉課 回答】

子どもの貧困の問題は重要な課題と考えています。貧困の問題は、子どもだけでなく同居している親の問題でもあり、複雑な要因が絡みます。効果的な仕組みを作るためには、あらゆる角度からの分析が必要です。子ども食堂の活動は、市民による自主的な活動ですが、より効果を高めるために子どもがいる生活困窮世帯等に対し無料回数券を配布する等、市民活動団体と一緒に方法を検討しています。

【高齢者支援課 回答】

我孫子市では事業の計画と評価を行うため、年度ごとに事務事業評価表を作成し、事業改善や市民ニーズへの対応等に反映させる仕組みをとっています。地域包括ケアシステムに関わる事

	<p>業、ケアマネジャー支援・介護保険サービスの適正化等においても、事業目的・計画・活動指標を立て、評価を行っています。それぞれに直接的もしくは間接的指標の中で、数値的な指標を立て事業評価をおこなっております。</p> <p>また、ケアマネジャーの行う給付管理について、管理システムを導入し、客観的指標に基づき過剰と思われる給付、偏りのみられる給付等を抽出し、直接居宅介護支援事業所に確認を行うことでケアマネジャーが適切なサービス提供を行えるよう支援しています。平成30年度に居宅介護支援事業所の指定管理業務が県より市に移譲されましたので、今後は定期的な実地指導や集団指導により、事業所の指導・管理も行います。</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 現在、近隣市が集まり会議を開催し、各市の課題や現況報告などを行っています。 今後、我孫子市ではどのような工夫が必要なのかなど、他市を参考に検討していきたいと思えます。 今後も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。</p>
3 1	<p>先日ヨーカドー南口店で子ども向けの活動が行われていて驚きました。年に2回ぐらいは子どもの遊びや体験イベントを市や企業や活動団体で企画して頂きたいです。その時に有志も募って頂けると個人的には活動に参加しやすく嬉しいのですが。</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 イベント時にはボランティアを募集していますが、広く周知し参加しやすい環境を整えていきます。</p> <p>【保育課 回答】 保育課では、毎年9月の「ママへのごほうびフェスタ」の他にも「ファミリーコンサート」やあびこショッピングプラザでの「キッズフェスティバル」などのイベントを、企業との共催で実施しています。父と子向けのイベント「enjoy パパ応援プロジェクト」では、サッカーやラグビー、かけっこ教室などの体験も行っています。 また、保育課では様々な場面で子育てを援助する子育てサポーター等を育成することを目的として「子育て支援員・子育てサポーター研修」を実施しています。規定の科目を修了された方を「子育てサポーター」として認定し、子育て支援施設や子育て支援センターでのイベントにもご参加いただいています。広報やホームページで受講の募集をしておりますので、ぜひ研修を受講していただき我孫子市の子育てを支援していただけたらと思います。</p>
3 2	<p>父親は母親よりも子どもと過ごす時間が短いので、父親と子どもの市民活動があるといいなと思う。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】 ご意見をいただきありがとうございます。 市内には、いわゆる「父親の会」が様々な地区で活動しています。活動内容は、子どもたちの見守りなど楽しみながら子どもたちのために活動されています。 父親と子どもに特化した形は少ないかもしれませんが、親子で参加できるボランティア、市民活動は市内にも多くありますので、ぜひご自身に合った活動を行ってください。</p>

	<p>【保育課 回答】</p> <p>市民活動ではありませんが、我孫子市では「enjoy パパ応援プロジェクト」として、父親と就学前のお子さんが一緒に過ごし、育児の楽しさを知ってもらうことを目的として、子育て支援施設4広場と子育て支援センターでイベントを定期的実施しています。近頃ではイベントをきっかけに広場に遊びに来る父親も増え、広場の中で出会った父親のサークルも誕生しました。広報、ホームページ、各広場だよりに掲載しておりますので、ぜひご参加ください。</p>
3 3	<p>市民活動と聞くと、宗教関係者や政治活動家が思い浮かぶ。市が共催や後援している講演で、偏った情報や信念でデマを流すのが明らかな講演者もあり、そのような懸念があるなら市は共催や後援をしないで欲しい。</p> <p>我孫子はシニアの方々が気さくに子どもに話しかけてくれるので嬉しい。このような日常の話しかけができることが、子どもたちに求められる市民活動だと思う。</p> <p>ところで、通学路やよく使われる道路沿いに、まだ高いブロック塀があります。公共の福祉のため、違法ブロック塀を是正させるよう行政上の強制執行することを願います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>市では後援依頼のありました事業について「我孫子市後援の取り扱いに関する要綱」に基づき、活動内容を十分に確認し承認しております。</p> <p>現在、多くの方が子どもの通学及び下校時の見守り活動にご協力いただいております。今後も気軽に参加できる市民活動にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>【建築住宅課 回答】</p> <p>通学路内のブロック塀等については、教育委員会から報告された箇所について、建築住宅課でパトロールを行い、建築基準法に適合しない可能性がある箇所については、ブロック塀等の所有者に対して文書による注意喚起を行いました。</p> <p>あわせて、ブロック塀等の詳細な調査をする業者や、撤去・造り替えの工事を施工する業者を紹介する施工業者紹介制度、ブロック塀等の撤去・造り替えに活用できる我孫子市住宅リフォーム補助金の案内を行いました。</p> <p>なお、その他危険と思われるブロック塀等について、各所から情報の提供を受けた場合は、同様の対応をとってまいります。また、ブロック塀等の管理は、所有者の責務であることから、市で強制的に撤去することは難しいこととなります。</p>
3 4	<p>学校や地域で車椅子の体験や、重りのついた服・色のついた眼鏡をかけるお年寄り体験や、妊婦体験をぜひしてもらいたい。こういったことを実際に体験・経験することはこれから社会で生きていく上で非常に良い経験だと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【市民活動支援課 回答】</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見にありましたとおり、子ども時代の実際の体験・経験は大変貴重であると考えています。</p> <p>我孫子市が設置しているボランティア・市民活動の支援施設である「あびこ市民活動ステーション」では、子どもがボランティアに参加できる事業として「JOYボラ」を実施しています。</p>

【指導課 回答】

学習指導要領において「豊かな体験活動は、児童生徒の世界を広げ、実生活や実社会の生きた文脈の中で様々な価値や自己の生き方について考えることができる貴重な経験となる」として、様々な場面での体験活動の充実が求められています。

高齢化社会が進む日本ですが、核家族が増え祖父母と一緒に生活している児童生徒が少なくなっています。そのような中で、お年寄りの擬似体験や車いす体験をすることは、児童生徒にとって、とても有意義な経験になると考えます。市内の小中学校で、総合的な学習の時間等で福祉に関する学習を行っている学校においては、社会福祉協議会の方にご協力いただいて、お年寄りの擬似体験や車いす体験を実施しております。

妊婦体験についても授業の中で実施できると、児童生徒がいろいろな立場の人について考える機会となり、思いやりの心が育ち、よりよい社会の担い手に成長していくと考えます。今後、妊婦体験についても、授業で体験する機会がつかれるよう努めてまいります。

(2) その他市政に対するご意見やご感想

1	<p>人口増加している近隣自治体に対しジリ貧の我孫子市の将来に不安を感じます。 (50代 女性)</p> <p>【企画課 回答】 近隣市のように、大規模な住宅開発がない中、莫大な人口増加は見込まれませんが、「子育てしやすいまち」をPRするとともに、保育園の待機児童ゼロ堅持や子ども医療費の充実、若い世代の住宅取得支援など、若い世代の方たちに選ばれるまちづくりに取り組んでいます。また、今、我孫子市に住んでいる人たちにとって安全安心で住みやすいまちとなるよう、水害対策や駅のバリアフリー化などにも取り組んでいます。さらに、新たな雇用を創出するため、企業誘致にも取り組んでいます。今後も、さまざまな視点から事業に取り組み、持続可能な自治体運営を目指していきます。</p>
2	<p>このアンケートの回答がスマートフォン用からだとして下記の回答内容確認及び、回答一時保存確認のボタンが使用できず先に進めませんでしたので、パソコン用から回答しました。 (30代 男性)</p> <p>【秘書広報課 回答】 スマートフォン及びパソコンから回答の入力チェックを行いました。異常はありませんでした。なお、アンケートの回答は、30分を経過するとタイムアウトとなりシステムが切断されますので、回答時間にも留意して回答をお願いします。</p>
3	<p>eモニターアンケートの結果や意見・回答については、我孫子市のHPにアクセスしなければ気付きません。それでは勿体ないと考えます。職員のみならず、多くの市民に見てもらうこと、参加してもらうことがより大切です。そのためには年に一回程度の「広報あびこ」でのアピールでは不足です。アビスタや図書館などを利用して（回覧して）、実際に市民の皆さんに「eモニターとは何か？」を理解していただくことが大切だと思います。 (50代 女性)</p> <p>【秘書広報課 回答】 いつもeモニターアンケートにご協力いただきありがとうございます。 eモニターアンケートの集計結果につきましては、我孫子市生涯学習センター「アビスタ」において自由に閲覧できるように検討するとともに、eモニター制度について、市政ふれあい懇談会におけるちらしの配布や子育て支援施設等でのちらしの配置等市民の皆様への周知を図ってまいります。</p>
4	<p>公用車のアイドリングを止めてください。県条例で規定していながら我が物顔でアイドリングしている。 (70代 男性)</p> <p>【施設管理課 回答】 条例に規定されていますとおり、自動車を駐車または停車するときは、エンジンを停止するよう庁内に周知徹底を図ります。</p>
5	<p>子ども食堂に関心がある。 (70代 男性)</p> <p>【社会福祉課 回答】 子ども食堂の活動に興味を持ってくださりありがとうございます。子ども食堂は子どもだけでなく、大人の方も参加できます。是非お食事をしながら活動の様子をご覧ください。また、詳しい内容については、気軽に社会福祉課にお問い合わせください。</p>

6	<p>子ども食堂をよく利用させて頂いています。仕事を終え、子どもを迎えに行ってから向かうと、ご飯がなく終わってしまったことが何回かありました。食材の手配等、難しいと思うのですが、何か対策を検討して頂けると嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【社会福祉課 回答】</p> <p>せっかく参加されたのにお食事ができないのは、残念な気持ちになりますよね。市内では、子ども食堂を運営する団体や企業、我孫子市社会福祉協議会、市が参加する「我孫子市子ども食堂ネットワーク」が組織され、定期的に会議を実施し、課題を検討しています。食材の手配については、市内の農家やスーパー等との協力ができるかどうかなど、対策をネットワーク会議で検討してまいります。</p>
7	<p>子ども食堂（我孫子駅南口）。せっかくの子ども食堂ですが、場所が悪い。駅前に子どもが行くことは少ない。わざわざ、子ども食堂のために駅に出向くことはしない。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【社会福祉課 回答】</p> <p>現在、市内に5か所の子ども食堂があり、少しずつ拠点が増えつつあります。ご自宅から近い場所に子ども食堂ができることを目標に、子ども食堂を作りたい市民が新しく参入しやすい仕組みづくりを検討していきます。</p>
8	<p>子ども食堂もやっているのは知っていたが、私たちが食べに行っているのかわかりづらい。子どもに教えられることであれば、参加したい。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p> <p>【社会福祉課 回答】</p> <p>どうぞ食べにいらしてください。子ども食堂は誰でも参加できる食堂です。子どもだけでも親子でも大人だけでも入ることができます。是非お子さんに教えてあげてください。詳しい内容については、気軽に社会福祉課にお問い合わせください。</p>
9	<p>学習支援などで自分の経験を活かしたい気持ちはあるので問8に回答しましたが、幼児の育児中のため、実際にはなかなか難しそうです。平日の昼間にフルタイムで仕事をしているので、平日の夜や土日にさらに子どもを預けてまでボランティア活動をするというのは現実的ではなさそうです。ただ、職場にボランティア休暇制度があるので、むしろ平日の昼間に活動することは可能かもしれません。市の学習支援は平日の夕方以降にのみ行われているようですが、夏休み期間中などに平日の昼間に行われていれば、参加を検討したいです（既に行われていた場合は、情報を見落としとしており申し訳ありません）。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【社会福祉課 回答】</p> <p>現在は、夏休みの平日の昼間に実施していません。今後、実施されるようになった場合はボランティアの方向けに情報提供を行っていきます。</p>
10	<p>アンケートとは別の内容で恐縮です。</p> <p>先日、保育園入園に関する面接を受けましたが、行ったことは提出した入園申込の書類の記載内容について、職員の方が口頭で確認し、別の様式に転記するだけのものでした。</p> <p>このような内容であれば、面接は不要ではないでしょうか。不明な点だけ電話で確認すれば済むと思います。増してや転記するのは面接後でもよいのではないのでしょうか。</p> <p>どうせ面接をするならば、記載内容について踏み込んだ質問をしたり、逆に保育園について説明をするなど、双方にとって意味のあるものとしてほしいです。形式だけの面接であれば、廃止していただきたいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>

	<p>【保育課 回答】</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。面接では、ご提出いただいた書類の内容確認や入園日の確認、世帯の状況、公立保育園においてはお子さんの様子等の確認を行っています。入園児童の世帯の正確な把握と、保護者様への各世帯状況にあわせた情報提供（例：みなし寡婦制度のご案内、保育料のご案内等）等の観点から、面接は必要であると考えています。ご指摘のとおり、書類内容と重複した聞き取り・記録を行う点につきましては、今後軽減していくことを検討していきます。</p>
1 1	<p>子どもの置かれた状況により、支援内容は多岐にわたると思われま。子どもに関連する行政機関で例えば教育委員会や子ども課・社会福祉課などで検討され、結果を広報等でお知らせいただければ参加しやすいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（70代 男性）</p> <p>【学校教育課 回答】</p> <p>小中学校に在学する児童生徒のご家庭で、経済的理由により就学費用の支払いが困難な保護者への支援措置として、「就学援助」を実施しています。</p> <p>就学援助制度は市ホームページに掲載しているほか、毎年度当初に学校を通じて全児童生徒に対し、制度のお知らせと申請用紙を配布しています。</p> <p>【保育課 回答】</p> <p>保育課では様々な場面で子育てを援助する、子育てサポーター等を育成することを目的として「子育て支援員・子育てサポーター研修」を実施しています。規定の科目を修了された方を「子育てサポーター」として認定し、子育て支援施設や子育て支援センターでのイベントにもご協力いただいています。広報やホームページで受講の募集をしておりますので、ぜひ研修を受講していただき我孫子市の子育てを支援していただけたらと思います。</p> <p>【社会福祉課 回答】</p> <p>新たな取り組みは、広報や市のホームページを通してお知らせしていくようにいたします。</p>
1 2	<p>せっかく県より水の館を譲渡したのに手賀沼の良さを子ども達に伝える改修がされていない。ただの農産物販売所になっている。手賀沼の自然を子ども達に伝える施設を駐車場を広げるだけでなく子ども達が見て、触って、考えていけるものを、全国には小さな施設でも魅力的なものもあります。初めて来た人にはただ、パネルや水槽が置いて有るだけに見えてしまうと思います。色々な取り組みをやっているのに。</p> <p style="text-align: right;">（50代 男性）</p> <p>【手賀沼課 回答】</p> <p>手賀沼親水広場水の館は、手賀沼の浄化に対する理解を深める場として、水環境保全啓発を目的に設置されており、次世代に美しい手賀沼を引き継ぐために、お子さまを始め、市民の方に啓発を行っていく必要があります。</p> <p>一方では、手賀沼親水広場には、多くのご家族連れが訪れており、皆さまからは、トイレ・休憩施設や駐車場の充実、農産物直売所や飲食施設などの要望がありました。</p> <p>このようなことから、手賀沼親水広場等の活用にあたり、農産物直売所や飲食施設など利用される方の望む機能を設置し、地産地消や環境保全型農業の推進と水環境保全の啓発活動を連携させることで、より多くの人々が手賀沼の環境に興味を持てるような施設として、平成29年6月にリニューアルオープンいたしました。</p>

	<p>ご意見いただきましたとおり、今後も皆さまに親しんでいただける魅力ある施設として、展示による情報発信や学習会の充実等を図っていきます。</p>
13	<p>いろいろなイベントに市長がいらっしゃっていてすごいです。子どもも市長の顔を覚えましたが！子どもと一緒に安心して落ち着いて食事出来るレストランが我孫子に出来たら嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【商業観光課 回答】</p> <p>イベントにお子様とご参加いただき、ありがとうございます。水の館に併設されているレストラン「米舞亭」では、安心・安全な市内産の野菜を多く使ったメニューが提供されています。手賀沼を眺めてのお食事が出来るので、是非ご利用ください。また、我孫子駅前や手賀沼ふれあいライン沿いにも店舗が多くあります。我孫子駅南口の我孫子インフォメーションセンターでは駅前グルメマップを配布しておりますので、こちらもよろしければご利用ください。</p> <p>水の館レストラン「旬菜厨房 米舞亭」</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/event/shisetsu/mizunoyakata/maimaitai.html</p>
14	<p>気になる事。公園内での野球、サッカーは してはいけないとは思わないが、モラルが問われる。小さな子がいたり、お散歩の犬がいても 気にしないのは 危なげで心配です。大人の指導が必要なのか、ネットが必要なのか、事故が起きる前に、と 思う。</p> <p style="text-align: right;">(50代 女性)</p> <p>【公園緑地課 回答】</p> <p>公園は子どもから高齢の方まで多くの方が利用することから、利用時には他の利用者や周囲の家などに迷惑をかけないように利用することを条例に定めていますが、実際に利用されている方のモラルによるところも大きいことから、注意看板などを設置して啓発を行っています。</p>
15	<p>子どもと関われる場所が新木地区には少ないので、公園や遊具の増強、子どもが遊べる施設の誘致、ふれあい農園の増強等を検討して欲しい。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p> <p>【公園緑地課 回答】</p> <p>市内の公園に設置されている遊具や施設の多くは、設置から年月が経過しており、毎年実施している遊具点検においても多くの修理等の指摘を受けていることから、現状は既存の遊具や施設を安全に利用いただけるように修繕等を優先して行っている状況です。</p> <p>そのため、新たに遊具や施設を設置することが難しい状況ですが、開発等により公園が新設される際には遊具等を設置するよう協議、調整していきます。</p> <p>【保育課 回答】</p> <p>布佐と新木の間になりますが、布佐南小学校内に子育て支援施設「すこやか広場」が設置されています。月～土曜日9時から16時まで開館し、月に1回は広場のスタッフが公園での出前保育も実施しています。子育て支援施設は、就学前のお子さんを持つ親子が気軽に利用できる施設となっておりますので、ぜひご利用ください。</p> <p>【農政課 回答】</p> <p>現在新木地区には、農家が開設している「ふれあい体験農園」が1ヶ所と、市が運営している「日秀新田市民農園」があります。</p> <p>市では、農家による農園の新規開設を支援し、ふれあい体験農園の利用を推進するとともに、市民農園の利用者を対象とした、子どもたちも一緒に農業体験ができるようなイベント等を継続して実施していきます。</p>

16	<p>菜の花、向日葵、コスモス等市内に市管理の花園はどの位あるのでしょうか。もう少し日頃の管理を厳しくして良質な環境（美しい花を咲かせる）にしたらどうでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">（60代 男性）</p> <p>【公園緑地課 回答】</p> <p>公園緑地課において直接、菜の花や向日葵、コスモス等を管理している花園はありませんが、市民花壇や手づくり公園といった地域のボランティアの方達によって、良質な花壇を形成している公園などが市内に点在しています。</p> <p>手賀沼遊歩道では、ソメイヨシノ桜の開花に合わせて、ライトアップも行っていますのでお出かけください。</p> <p>【農政課 回答】</p> <p>市では、平成29年10月に策定した「高野山新田地区利用構想～憩いのエリア編～」に基づき、高野山ふれあい市民農園跡地において試験的にコスモスや菜の花の栽培を実施しています。</p> <p>天候等により作物の出来が左右されることもありますが、市民の方をはじめ多くの方々に良好な景観を楽しんでもらえるよう取り組んでいきます。</p>
17	<p>我孫子市は自然がありいい地域だと思います。</p> <p>ご意見→356号線の宮ノ森公園に面している道路は、ガードレールはつけてもらえないのですか？</p> <p>あの道、運転する方がスピードを出している方が多いし、大人が普通歩いていても怖いと感じます。</p> <p style="text-align: right;">（30代 女性）</p> <p>【道路課 回答】</p> <p>国道356号は、千葉県柏土木事務所が管理しておりますのでご意見を伝えてまいります。</p>
18	<p>最近交通事故等ふえてるので</p> <p>たとえば 一時停止など薄くなり運転手が気づかない場合などあるので もう一度 きちんと塗装してもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">（40代 女性）</p> <p>【道路課 回答】</p> <p>一時停止（止まれ）・横断歩道などは、千葉県警察が管轄しておりますので窓口となる我孫子警察署に伝えてまいります。</p>
19	<p>議会だより8月1日発行で、「議員定数条件の一部改正」について公聴会を開催しましたと、一面（裏面）のど真ん中に大きく書かれています。また公聴会の様子については「議会中継」をご覧くださいとあります。一方で市民1172人のアンケート結果については触れてません。HPのどこに結果があるのかも載せてません。アンケート結果と公聴会の結果は全く逆になっています。市民アンケートの結果を教えてください。また反対意見の主旨は「あびこ民報」にまとめて配布してくれています。賛成意見の主旨も同様にまとめて配布して下さい。</p> <p style="text-align: right;">（50代 男性）</p> <p>【議会事務局 回答】</p> <p>アンケート結果は、平成30年2月1日発行の「あびこ議会だより（No. 204）」に抜粋を掲載しました。また、市議会HPのトップページ「市議会に関する市民アンケートの結果」からご覧いただけますので、内容をご確認ください。</p> <p>公聴会は、議会中継のほか、会議録を作成しており、内容を確認できます（市議会HPの「会議録検索」から閲覧できます）。議員定数条例の一部改正案に対する公述人の賛成・反対の意見をご確認ください。</p>

	<p>また、6月議会における条例改正案に対する議員の意見については、公聴会と同様に議会中継又は会議録でご確認ください。</p>
20	<p>現在、学校支援ボランティアとして週1回、小学校で図書の整理や図書室の環境整備の手伝いをさせていただいています。小学校に行って不安を感じるのは、子どもたちの保安警備体制についてです。事故が起こってからでは遅いのです。もっと学校への出入者のチェックを厳しくするなど警備の強化が必要ではないでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(60代 男性)</p> <p>【学校教育課 回答】</p> <p>学校には、「安全管理員」という臨時職員が配置されています。毎日子ども達の登下校の見守りや子ども達が学校にいる間は門を閉めているため、来客等があった時など門扉の開閉を行いながら、来客者の確認も行っています。今後も不審者対応の研修を継続していくなど学校とも連携をとりながら子ども達が安心して学校で学べるよう努力していきます。</p>
21	<p>登下校の安全に対する指導が十分と思われません。特に交通ルールです。</p> <p style="text-align: right;">(70代 男性)</p> <p>【学校教育課 回答】</p> <p>小学校は、低学年では「正しい歩行の仕方」「横断の仕方・道の歩き方」中・高学年は、「正しい自転車の乗り方」など、中学校についても同様に各学年に応じて授業の中で交通安全指導を行っています。授業以外の場でも全校集会や学校便りを通して「交通ルール」について子ども達や保護者へお伝えをしていますが、今後も繰り返し伝えていきたいと思えます。</p>
22	<p>子どもが参加するものが割とあり、感謝しています。手賀沼で生き物観察、田んぼ作業、さつまいも掘り、など経験させていただきありがとうございました。今後はこういったボランティアの方主催で学校に来て何かされたら、もっと参加しやすいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【指導課 回答】</p> <p>学校の教育課程は、児童生徒や地域の実態にあわせて組まれています。特に小学校においては、発達段階に応じて体験活動を取り入れながら、効果的に学習が進められるよう、工夫をしています。授業の内容によっては、ボランティアの方に学校に来ていただいて、指導していただくこともあります。</p> <p>我孫子市では学校地域支援本部事業を行っており、学校からコーディネーターにボランティアを要請して、派遣してもらっています。学校とコーディネーターには、「生涯学習課が行っている出前講座のメニュー」や「社会福祉協議会ボランティア・市民活動相談窓口で・と・り・あの案内」を配付し、様々なボランティアが授業や行事で活用できるように紹介していますので、今後とも、有効に活用してまいります。</p>
23	<p>残念ながら我孫子市は近隣市と比べ、IT系の活動が活発とは思えません。子ども達のITリテラシーの低さからくる犯罪が多発している昨今、市政が介在するなどしてITリテラシー教育を含めたプログラミング教育をもっと推し進めるべきと考えます。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p> <p>【指導課 回答】</p> <p>現代社会において、ITと生活を切り離して考えることはできません。学校においても小学校低学年からITリテラシー教育を計画的に行っていく必要があります。我孫子市においては、情報教育のモデルカリキュラムを作成し、コンピュータの使い方を身につける教育だけでなく、情報モラル教育も行っております。</p> <p>今年度で、市内の全中学校区にタブレット型端末機器の配置が完了しますので、今まで以上に</p>

	<p>授業の中でもITを活用する場面が増えてきます。子ども達は、インターネットから必要な情報を探したり、その内容が正しいかどうか判断したりする力が必要になりますし、情報発信をする時に、著作権や肖像権など守るべきルールがあり、自分が発信した情報に責任が伴うことを理解しなくてはなりません。</p> <p>また、携帯電話やスマートフォンを所持する年齢が、少しずつ低年齢化してるので、メールやSNS等によるトラブルに巻き込まれないよう、学校でも教育していく必要があります。LINEを営している事業者と東京都教育委員会が2016年に実施した「ネット上で問題を経験した子どもの割合」の調査では、情報モラル教育を受けた子どもの方が、受けていない子どもより6ポイント低いという結果が出ていました。</p> <p>これらのことから、教育委員会としましても、子ども達が犯罪に巻き込まれないよう、今まで以上に学校や家庭と連携して、ITリテラシー教育を推進して参りたいと思います。</p>
24	<p>図書館での対応について</p> <p>子どもに対して静かにしなさい！と注意するのはわかります。しかし、少し行き過ぎだと思えます。</p> <p>子どもコーナーで、子どもが親を探すのに、お母さんと呼んでいるのを静かにしてくださいと注意していました。友達同士でキャーキャー騒いでいるならともかく、迷子にならないように親を呼ぶのが騒音なのですか？本を調べるコーナーの眼鏡をかけている方です。</p> <p>ある自治体では、子どもが図書館に来やすいように色々工夫している所もあります。声を出して本を読んでも良いところもあります。我孫子市の図書館は注意するだけではなく、もう少し子どもの目線で改善していくべきではないでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【図書館 回答】</p> <p>この度は対応に不手際があり、申し訳ございませんでした。</p> <p>通常、お子さんが親御さんをお探しの場合は、どうしたのか状況をたずねて、大きな声を出さないですむように、職員と一緒にお探しするようにしています。今回はその状況の把握に至らず、ご不快な思いをさせていただきました。</p> <p>なお、お子さんやその保護者の方は、児童コーナーにある「おはなしの部屋」で声を出して本を読んでもいただくことは可能です。</p> <p>児童コーナーと一般コーナーがワンフロアであるために、すべての利用者の方に館内環境についてご配慮いただいておりますが、今後も楽しくご利用いただけるよう努めてまいります。なにかございましたら、ぜひ、図書館職員にお声かけください。</p>
25	<p>図書館で借りた本をけやきの行政センターが開いていない時間帯にも返却できるようにして頂けませんか。出勤前の朝返却できると非常に助かります。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p> <p>【図書館 回答】</p> <p>図書館をご利用いただき、ありがとうございます。</p> <p>我孫子行政サービスセンター閉庁時間における図書館で借りた本の返却ですが、けやきプラザ内への返却ポスト等の設置が必要となります。設置費用及び管理・回収などの課題があり、現状では難しいと考えます。行政サービスセンター開庁時間内の返却にご協力をお願いします。</p>
26	<p>子どもが都内まで行かなくても文化に触れる機会があれば良いと思います。子どもも楽しめるコンサート、絵画展等</p> <p style="text-align: right;">(60代 女性)</p>

	<p>【文化・スポーツ課 回答】</p> <p>市では、子どもが楽しめる絵画展などを主催しておりませんが、演劇やコンサート、パフォーマンスなど子ども向けのイベントとして、「子どものための舞台鑑賞事業」を毎年開催しております。今年度は、演劇を平成31年2月9日（土）に開催を予定しております。</p> <p>また、市内で活動する文化団体も、子ども向けの手工芸や絵画、日本舞踊などの体験教室や、子どもが鑑賞できるコンサートを開催しております。</p>
27	<p>我孫子市営の文化会館、陸上競技場の新設。ショートゴルフ場 （70代 男性）</p> <p>【企画課 回答】</p> <p>平成19年3月に耐震性の問題から市民会館を閉館して以降、市では、新たな文化施設の整備について検討を行ってきました。現在は、「にぎわいづくり、交流人口の拡大」の視点を入れた「文化交流拠点施設」の整備について、平成28年度に今後の本市の公共施設の在り方をまとめた「我孫子市公共施設等総合管理計画」の趣旨を踏まえ、建設構想案の取りまとめを行っているところです。その検討内容を、中間報告として、秋の市政ふれあい懇談会や意見募集など様々な機会を通じてお示しし、市民の皆さんからご意見を伺う予定です。</p> <p>【文化・スポーツ課 回答】</p> <p>陸上競技場につきましては、近隣市にあるような公認競技場を整備するのに十分な用地を確保することが困難な状況にあります。そのため、記録大会等は近隣の公認競技場で行わざるを得ないと考えています。</p> <p>なお、五本松運動広場再整備計画の中で多目的に使えるサッカー場に周回走路を盛り込む検討しております。</p> <p>ショートゴルフ場につきましては、市で整備する予定はありません。</p>